

# 商 工 労 政 課

## ○新型コロナウイルス対策関係

### 1 伊勢市版事業継続支援金

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和2年12月から令和3年3月までのいずれかの月の事業収入が、前年の同月と比較して30%以上減少した事業者のうち、国の一時支援金または三重県飲食店・取引事業者等事業継続支援金の対象とならない中小企業者に対し、事業継続を支援するため、売上減少額に応じて10万円または5万円を支援金として交付した。

本事業の実施にあたっては、申請の受付および審査、交付決定通知の発送などの業務を伊勢商工会議所へ委託した。

#### (1) 交付実績

区 分	交付件数	交付金額
10万円	1,019 件	101,900,000 円
5万円	15	750,000
計	1,034	102,650,000

#### (2) 伊勢市版事業継続支援金支給業務委託

ア 委託先 伊勢商工会議所

イ 委託料 11,000,000 円

ウ 履行期間 令和3年4月1日～令和3年7月30日

### 2 地元の魅力再発見・店舗応援商品券事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が著しい中小規模店への支援として、30%のプレミアムを付けた商品券の発行・販売等の事業を行い、消費者の購買意欲を高め、地域における消費を促進した。

本事業は、伊勢商工会議所と協働して実施し、同所に対し、補助金を交付した。

交付先	補助金額
伊勢商工会議所	299,929,000 円

#### (1) 商品券の概要

ア 発行冊数 163,500 冊

(うち、11,121冊は、健康課が行う「感謝の気持ちお届け事業」により医療従事者等へ配付)

イ 券種 1冊13枚綴り(500円中小規模店専用券13枚)

ウ 販売金額 1冊あたり6,500円の商品券を5,000円で販売

- エ 利用期間 令和3年8月2日～令和3年12月28日
- オ 販売期間 令和3年8月2日～令和3年8月31日（一次販売）  
令和3年10月9日、令和3年10月11日（二次販売）
- カ 対象者 一次販売：伊勢市内に在住の方  
二次販売：要件なし
- キ 取扱店舗 伊勢市内の小売業・飲食業・サービス業など、登録された1,299店舗

(2) 販売結果

- ア 発行総額 1,062,750,000円（うちプレミアム分 245,250,000円）
- イ 販売総額 817,500,000円
- ウ 券面総額 1,062,750,000円
- エ 換金総額 1,058,799,000円（換金率99.6%）

3 伊勢商品・学生応援事業

市内事業者が取り扱う商品を県外在住の学生に対して応援便として届けることにより、観光客の減少や外食の自粛等により苦境に立たされている市内事業者、並びに、学生生活や地元とのつながりが困難な状況にある県外在住の学生を支援した。

- ア 委託先 社会福祉法人 伊勢亀鈴会 伊勢社会的事業所 まかせ太君
- イ 委託料 単価契約 7,500円/件（税抜き）
- ウ 履行期間 令和3年4月15日～令和3年8月18日  
（募集期間：令和3年5月1日～令和3年5月31日）
- エ 申込・送付数 1,208件
- オ 支出額 11,051,480円  
（7,500円×1,208件＋消費税＋送料[税込み]1,085,480円）

4 飲食店等応援チラシ作成普及事業補助金

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けている飲食店等を支援するため、伊勢商工会議所が行うテイクアウトや出前に対応した店を周知する事業に対し、補助金を交付した。

交付先	補助金額
伊勢商工会議所	975,000円

5 行政書士による申請支援事業

国の月次支援金、三重県地域経済応援支援金や三重県酒類販売事業者等支援金などの申請が困難な中小企業者に対し、三重県行政書士会伊勢支部と連携し、申請支援が可能な行政書士7名を伊勢市ホームページおよび広報いせで周知した。

6 みえ安心おもてなし施設認証支援事業

新型コロナウイルス感染症の感染リスクが続く中、市民や旅行者が飲食店や土産物店などを安心して利用できるよう、三重県が行う「みえ安心おもてなし施設認証」(※)を取得し、感染防止

に取り組む中小企業者を対象に、1 認証あたり 5 万円を奨励金として交付した。

(※) 三重県が一定基準を満たす感染防止対策に取り組む施設を認証する制度

交付件数	認証数	交付金額
387 事業所	481 店舗	24,050,000 円

#### 7 首都圏・関西圏期間限定店舗設置事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、観光客が減少する中、首都圏及び関西圏に期間限定店舗「I S E SHOP (イセショップ)」を設置して、地域産品を販売するとともに伊勢市の観光PRを行うことにより、地域産品の販路拡大及び認知度向上並びにコロナ収束後の誘客に繋げた。

- (1) 委託先 公益社団法人伊勢市観光協会
- (2) 委託料 22,582,835 円
- (3) 履行期間 令和3年9月30日～令和4年3月29日
- (4) 店舗設置場所及び期間

ア 南町田グランベリーパーク (東京都町田市) 令和3年10月29日～令和4年1月30日

イ 青葉台東急スクエア (神奈川県横浜市) 令和4年2月2日～令和4年2月27日

ウ ららぽーとEXPOCITY (大阪府吹田市) 令和4年2月8日～令和4年2月20日

#### (5) 実績

設置場所	出品	売上(税抜き)	1日平均売上	売上品数	客数
南町田グランベリーパーク	69 業者 171 品目	円 10,217,573	円 109,866	点 15,083	人 7,932
青葉台東急スクエア	52 業者 130 品目	8,970,683	358,827	14,433	5,870
ららぽーとEXPOCITY	43 業者 111 品目	1,533,694	117,976	2,808	1,136
計		20,721,950	—	32,324	14,938

#### 8 中小企業者緊急支援金

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和3年8月または9月のいずれかの月の事業収入が、前年または前々年の同月と比較して30%以上減少し、三重県地域経済応援支援金(8・9月分)または三重県酒類販売事業者等支援金(8・9月分)を受給した中小企業者に対し、事業継続を支援するため、県支援金と同額を交付した。

交付件数	交付金額
826 件	142,733,058 円

#### 9 中小企業信用保険法の規定による中小企業者の認定

中小企業者が三重県信用保証協会の信用保証を受けられる融資金額は、中小企業信用保険法に

よりその上限が定められているが、営業不振や自然災害の発生など緊急の事由により資金需要が発生した際、認定要件に該当する場合に、一般の保証枠とは別枠の信用保証を受けることができる。

別枠の信用保証により、新たな融資が受けられるように、中小企業信用保険法第2条第5項及び第6項に基づく認定を行った。

認 定 要 件	認定件数
第5項第4号：突発的災害（自然災害等）	25 (476)
第5項第5号：業況の悪化している業種（全国的）	27 (208)
第6項：大規模な経済危機、災害等による信用収縮	31 (1,427)
計	83 (2,111)

※（ ）は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に起因する令和元年度以降の認定総数

#### 10 市職員向け商品の販売

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、賞味期限・消費期限・使用期限が近づくも在庫として抱える事業者を支援するため、在庫商品等を市役所本庁舎及び各総合支所で販売する場を提供した。

- (1) 対象事業者 伊勢市内に事業所を有する者
- (2) 販売期間 令和3年5月28日～令和3年6月30日  
令和3年9月29日～令和3年10月28日
- (3) 販売時間 業務終了後から18時頃まで

販売期間 令和3年5月28日～令和3年6月30日の出店実績

販売事業者数	延べ販売事業者数				
	本庁	二見総合支所	小俣総合支所	御菌総合支所	計
28社	30社	5社	14社	4社	53社

販売期間 令和3年9月29日～令和3年10月28日の出店実績

販売事業者数	延べ販売事業者数				
	本庁	二見総合支所	小俣総合支所	御菌総合支所	計
21社	24社	3社	6社	0社	33社

販売期間全体の出店実績

販売事業者数	延べ販売事業者数				
	本庁	二見総合支所	小俣総合支所	御菌総合支所	計
49社	54社	8社	20社	4社	86社

## ○商工関係

### 1 商店街等振興対策事業

交通環境の変化や大型店の郊外への出店などを要因として、中心市街地商店街等の集客力・求心力が弱体化している。このため、地域のコミュニティ機能の担い手としての役割が期待されている商店街等を含む中心市街地の活性化を図るため、伊勢まちづくり株式会社が実施する取り組みに対し、負担金を支出した。

また、まちなかの回遊性の実態や、賑わい創出の効果等、各商店街等における来街者の動向を把握し、今後の経営戦略や商店街等の活性化に対する指標とするため、通行量調査を実施した。

#### (1) 商店街等空店舗対策事業

中心市街地商店街等の集客力の向上及び機能回復の促進を目的として、中心市街地商店街等の空店舗の解消を図るため、空店舗対策を実施する商店街等に対し、伊勢まちづくり株式会社が行う補助事業に負担金を支出した。

ア 伊勢まちづくり株式会社が実施した「商店街等空店舗対策事業」の実績

	実施主体（商店街等）	対象店舗の名称	対象店舗の業種	補助金額
継続	伊勢河崎本通り活性化会議	牡蠣の朋	飲食店	円 40,000
	伊勢市駅前商店街振興組合	Candy Nails	ネイルサービス業	56,150
新規	伊勢銀座新道商店街振興組合	KILLI BILLI	飲食店	360,000
	伊勢銀座新道商店街振興組合	Bee Design Works	デザイン業	308,000
	外宮参道発展会	パン屋 麦	料理品小売業 (製造小売)	1,266,028
	伊勢高柳商店街振興組合	'NL' SPACE Gym&Cafe	フィットネスクラブ	1,525,000
	伊勢銀座新道商店街振興組合	CIEL	美容業	240,000
	伊勢河崎本通り活性化会議	cuelli	各種商品小売業	112,500
計 (8件)				3,907,678

#### (2) 商店街等活性化対策事業

商店街等の発展及び活性化を図るため、消費者に魅力ある商店街づくりを行う団体に対し、伊勢まちづくり株式会社が行う補助事業に負担金を支出した。

ア 伊勢まちづくり株式会社が実施した「商業まちづくり補助金事業」の実績

	実施主体（商店街等）	事業名	補助金額
新規	伊勢銀座新道商店街振興組合	しんみちイルミネーションプロムナード	350,000円

#### (3) 商店街等PR支援事業

商店街等の活性化や空店舗の解消を図るため、伊勢まちづくり株式会社が行う商店街等の広報に対し、負担金を支出した。

実施主体	事業名	負担金額
伊勢まちづくり株式会社	中心市街地の地域資源を題材とした記事作成	792,000 円

(4) 商店街等通行量調査実証実験事業

これまで年に1度、人員による歩行者等通行量調査を行っていたが、従来の方法では、調査日における天候や中心市街地で開催されるイベント等の有無により、歩行者等通行量の変動するため、調査の手法及びあり方が課題となっていた。このような課題を解決するため、定点A Iカメラ等の機器を用いて年間を通した調査を行う伊勢まちづくり株式会社に対し、負担金を支出した。

実施主体	事業名	負担金額
伊勢まちづくり株式会社	商店街等通行量調査実証実験事業	7,046,753 円

(5) 商店街等の通行量調査

まちなかの回遊性の実態や、にぎわい創出の効果等、各商店街等における来街者の動向を適切に把握し、今後の商店街等の活動に対する指標とするため、人員による歩行者等通行量調査を実施した。なお、この調査で得られた数値と伊勢まちづくり株式会社が実施した商店街等通行量調査実証実験事業において得られた数値を比較し、調査方法の違いによる取得数値の傾向を検証した。

実施主体	委託先	業務名	委託料
伊勢市	公益社団法人伊勢市シルバー人材センター	伊勢市商店街等歩行者通行量調査事業業務	279,738 円

2 商業活性化推進事業

(1) 商業魅力アップ支援事業補助金

伊勢市内の商業振興を図るため、地域住民及び観光客のニーズに応えた商業環境の整備やにぎわいの創出に新たにに取り組む商業団体等に対して、事業費の一部を補助した。

交付先	事業名	補助金額
伊勢商工会議所	検定「お伊勢さん」オンラインシステム構築事業	733,000 円
外宮参道発展会	外宮参道ロゴ作成事業	315,000
計 (2件)		1,048,000

(2) 地域おこし協力隊事業

中心市街地における居住人口の減少、商店街等の賑わいの創出や回遊性の促進などの課題の解決、また、地域資源の利活用に向けて、地域外の人材を誘致し地域活動に従事してもらうことで地域力の維持・強化に取り組み、地域の活性化を図るため、地域おこし協力隊員の募集を行い、選考の結果、中心市街地活性化部門1名、観光魅力創出部門2名に委嘱した。

3 地域産品販売促進事業

伊勢市産業振興会や公益社団法人伊勢市観光協会等の関係団体及び日本貿易振興機構と連携し、伊勢の食材や特産品などの認知度向上及び販路拡大を図るとともに、中小企業者が出展する商談会等の出展料の一部を補助した。

(1) 物産展等

伊勢の食材や特産品などの地域資源を全国に発信し、認知度の向上及び販路拡大を図るため、首都圏等で物産展等を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止とした。

(2) 伊勢市商談会等出展支援事業補助金

市内の中小企業者及び中小企業団体等の販路拡大及び新規需要開拓を促進するため、国内外における商談会や見本市及びオンライン商談会等に出展する中小企業者及び中小企業団体等に対し、補助金を交付した。

なお、令和2年度までは国内外における商談会等に出展する際の小間料を補助対象としていたが、令和3年度から設営に係る装飾費、オンライン商談会等へ出展する際の参加費及び企業情報等の登録料も対象とし、補助対象経費の拡大を図った。

区 分	補助件数	補助金額
商談会	10 件	1,300,000 円

4 経営改善普及事業

伊勢商工会議所中小企業相談所及び伊勢小俣町商工会が実施する中小企業者の経営改善及び経営基盤の強化に向けた取り組みを支援するため、経営指導等に要する経費に対し、補助金を交付した。

また、中小企業者への相談対応や経営指導の充実化、中小企業者が抱えている課題の解決を図るため、伊勢商工会議所中小企業相談所及び伊勢小俣町商工会が行う専門家派遣に係る経費に対し、補助金を交付した。派遣件数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、事業所訪問や対面での指導及び助言ができない状況が続いたことで、令和2年度の48件から、令和3年度は24件に減少した。

(1) 経営改善普及事業補助金

交付先	事業内容	補助金額
伊勢商工会議所 中小企業相談所	中小企業者に対する ・講習会、セミナーの開催 ・融資相談、経営指導、税務相談など	円 10,000,000
伊勢小俣町商工会	中小企業者に対する ・経営指導や記帳継続指導など ・講習会、個別相談会の開催など	6,890,000
計	(2件)	16,890,000

(2) 専門家派遣事業補助金

交付先	事業内容	補助金額
伊勢商工会議所 中小企業相談所	中小企業者への相談対応や経営指導の充実化を図るため、中小企業者が抱えている課題に対して専門的・実践的な指導、助言を行う専門家を派遣する。	円 315,000
伊勢小俣町商工会		427,000
計	(2件)	742,000

5 小規模事業資金保証料補給補助金

伊勢商工会議所または平成 19 年以降に伊勢小俣町商工会の斡旋により、三重県信用保証協会の保証を得て、小規模事業資金又は小規模借換資金の融資を平成 29 年 3 月 31 日までに受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行い、小規模事業者の経営合理化を促進した。

件数	補助金額	取扱金融機関名
18 件	359,115 円	百五銀行、三十三銀行、桑名三重信用金庫

6 中小企業災害復旧資金利子補給補助金

平成 29 年台風第 21 号により被害を受けた中小企業者で、災害復旧に必要となる融資を受けた者に対し、速やかな事業の再建を図るため、その融資に係る利子の一部を補助した。

融資名	補助件数	補助金額	取扱金融機関名
セーフティネット資金	2 件	42,585 円	百五銀行
災害復旧貸付	2	12,227	日本政策金融公庫
計	4	54,812	

7 経営力向上支援事業

中小企業者の持続的発展を促し地域経済の活性化を図るため、三重県融資制度及び日本政策金融公庫融資制度のうち対象となる融資を受けた場合に、その融資に係る利子の一部を補助した。

また、中小企業者の挑戦の後押し、意欲の向上を図るため、伊勢商工会議所及び伊勢小俣町商工会が行う中小企業者の経営課題の解決に向けた取り組みを支援する事業に対し、補助金を交付した。

(1) 経営力向上支援事業利子補給補助金

平成 29 年 4 月 1 日以降に三重県中小企業融資制度の小規模事業資金及びみえ経営向上支援資金、日本政策金融公庫国民生活事業の小規模事業者経営改善資金、小規模事業者経営発達支援資金、中小企業経営力強化資金、生活衛生関係営業経営改善資金及び企業再建資金の融資を受けた場合に、その融資に係る利子の一部を補助した。

融資名	補助件数	補助金額
小規模事業資金	48 件	1,042,968 円
小規模事業者経営改善資金	127	5,896,064
生活衛生改善貸付	22	584,372
企業再建資金	6	615,399
計	203	8,138,803

(2) 三重県版経営向上計画実施支援補助金

三重県版経営向上計画のうちステップ 2（経営課題の解決に向け具体的に取り組もうとする計画）又はステップ 3（経営課題に対する解決策を本格的に実行しようとする計画）の認定を受けた事業所が、認定された計画に基づき実施する経営課題の解決に向け行う取り組み



に係る経費の一部を補助した。なお、中小企業者への補助は伊勢商工会議所及び伊勢小俣町商工会が行い、市は伊勢商工会議所及び伊勢小俣町商工会に対し、補助金を交付した。

交付先	補助金額	事業者数
伊勢商工会議所	円 4,494,000	社 28
伊勢小俣町商工会	1,713,000	9
計	6,207,000	37

## 8 創業支援事業

創業や第二創業、事業所の移転を促進することで雇用の創出及び移住・定住の促進を図るため、新たに市内に事業所を設置し創業・移転を行う者に対し、創業に必要な経費の一部の補助、また、創業関連融資制度のうち対象となる融資を受けた場合にその融資に係る利子の一部の補助や信用保証協会の保証料の補助を行った。

また、関係各課及び関係団体と連携し、U I J ターン希望者の移住及び市内での創業支援に取り組んだ。

### (1) 創業・移転促進補助金

創業や事業所移転による産業の振興、移住・定住の促進を図るために、市内で創業を行う者、市内で第二創業を行う者、市外から新たに伊勢市に事業所（本店）を移転しようとする者の創業・移転に係る経費の一部を補助し、32社が創業や事業所移転を行った。

なお、令和3年度に事業着手したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響や審査時期の都合で年度内に事業完了しなかった11件については、次年度へ繰り越した。

区分	補助件数	補助金額	備考
前年度より繰越	件 8	円 4,584,000	市内創業8社
令和3年度申請	24	16,933,000	市内創業18社、移住創業5社 事業所移転1社
賃料分2年目申請	3	185,000	賃料分が2か年度にわたる創業者等
計	35	21,702,000	

区分	申請件数	補助金額（交付予定額）
次年度へ繰越	件 11	円 5,877,000

### (2) 創業・再挑戦アシスト資金保証料補給補助金

創業者のリスク軽減を図り創業しやすい環境を整えることを目的に、三重県の融資制度である創業・再挑戦アシスト資金の融資を平成25年4月1日から平成29年3月31日までに受けた事業者（貸付実行時に市内に主たる事業所がある、又は設置しようとする事業者）に対して、保証料の補給補助を行った。

補助件数	補助金額
件 17	円 428,217

(3) 創業・再挑戦アシスト資金利子補給補助金

創業者のリスク軽減を図り創業しやすい環境を整えることを目的に、三重県の融資制度である創業・再挑戦アシスト資金の融資を平成29年4月1日以降に受けた事業者（申請時に市内に主たる事業所がある、又は設置しようとする事業者）に対して、その融資に係る利子の一部を補給補助した。

補助件数	補助金額
件 59	円 1,766,921

9 住宅・店舗リフォーム等促進事業補助金

市内住宅関連産業の振興を促進し、地域経済の活性化を図るため、市民や商業者のリフォーム又は増改築、店舗の新築工事の意欲を促すべく、市内住宅関連産業による住宅や店舗のリフォーム又は増改築、店舗の新築工事を行う者に対し、補助金を交付した。

区分	補助件数	補助金額
店舗	件 12	円 1,785,000
住宅・店舗併用	17	1,959,000
住宅	249	22,508,000
計	278	26,252,000

10 ものづくり推進事業

(1) 新産業創出支援事業補助金

新たな製品開発や新産業の創出に取り組む中小製造業者又はその団体の育成を図るため、中小製造業者等が行う新製品・新技術の研究開発に対し、補助金を交付し企業力の強化を図った。

補助金交付事業者及び交付額の決定等にあたっては、大学教授をはじめとする学識経験者等で構成する審査委員会において、事業内容及び実績等をもとに審査を行った。

交付先	事業内容	補助金額
有限会社二軒茶屋餅角屋本店	新時代のノンアルコール飲料「ホップスパークリング」の開発事業	2,000,000円

(2) 伝統工芸品等再生支援事業補助金

伝統工芸品産業の振興を図るため、製造業者等が行う後継者育成等の伝統工芸品産業の再生及び発展につながる事業を支援する制度を設けており、1件の交付決定を行ったが、期間中に事業を完了することができなかつたため、補助金の交付に至らなかつた。

(3) 株式会社三重ティーエルオーへの加入及び関係機関との連携

中小企業者と大学との交流支援に取り組み、かつ、県内の大学等の研究成果や新技術を産業界に移転する活動を積極的に推進するなど、産学官連携の拠点と位置づけられている株式会社三重ティーエルオーに継続加入し、市内中小企業者が学術機関への技術相談や大学等の技術やノウハウの収集などが容易にできる環境を整えた。

(4) 中小企業等経営強化法に基づく先端設備等導入計画の認定

中小企業者が設備投資を通じて労働生産性の向上を図るため、国の指針や伊勢市が定める導入促進基本計画に沿った先端設備等導入計画を策定した場合に認定を行った。先端設備等導入計画の認定を受けた中小企業者は、税制支援や金融支援を受けることができる。

認定件数	根拠法令
25件	中小企業等経営強化法（旧生産性向上特別措置法）

11 産業支援センター管理運営事業

(1) 伊勢市産業支援センター

平成24年度から、専門性を向上させ効率的・効果的に業務を進めるため指定管理者制度を導入している。指定管理者は、施設の管理運営と企業訪問による課題の聴き取り及び解決、起業家の育成、各種講習会の開催などに取り組んだ。

- ・指定管理者：伊勢商工会議所 会頭 山野 稔
- ・指定管理期間：平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）
- ・指定管理料：総額231,785,700円（令和3年度46,783,000円）

ア 起業支援

(ア) 創業支援員の配置

新しい事業の実現のため、起業家とともに課題を分析し、解決のための手法の提案や、経営・財務などの専門家との連携など、起業家の事業活動を総合的にサポートする創業支援員を常勤で配置した。

外部相談件数	338件
内部相談件数	41件

・起業・創業勉強会

実施回数：10回、延べ参加者数：115人

・女性起業セミナーおよび女性キャリア支援セミナー

実施回数：3回、参加者数：35人

(イ) 起業家支援室の提供

利用者名	利用期間	事業内容
(株)アイ・K	30. 4～3. 9	真珠製品加工、卸し、販売、レンタル

(ウ) 起業準備支援室の利用実績

利用者名	利用期間	事業内容
(同) メグリア	3. 4～4. 3	人材紹介事業
冷凍プリンソフト(株)	3. 8～4. 3	「冷凍プリンソフト」のブランド化・販売促進及び新商品開発
(一社) mirai	4. 2～4. 3	林業及び木材その他農林水産物の販売業、キャンプ場の運営、防災に関するコンサルティング委託事業等

イ 経営支援（企業力の強化）

(ア) 企業支援員及び職員による企業訪問

市内の製造業を中心とした中小企業者の活性化を図るため、各製造業者の課題を把握しその解決に向け、関連支援機関等への橋渡しや各種支援策の紹介を行い、中小企業者の円滑な事業活動を支援する「企業支援員」2名を配置した。

訪問件数	延べ 1,055 件（285 社）
課題数	49 件
課題解決件数	47 件（他、継続 2 件）

(イ) 専門家派遣支援事業

中小企業者の相談対応に伴い、課題等の解決のため専門家派遣の取次ぎを行った。

取次件数：3 件

(ウ) 融資情報の提供及び紹介事業

取次件数：3 件

(エ) 事業継承に関するセミナー・個別相談会

・セミナー

実施回数：1 回、参加者数：8 人

・個別相談会（三重県信用保証協会主催）

実施回数：1 回、参加事業者数：9 社

(オ) 経営支援に関するセミナーの開催

販売力向上や販路拡大を目的に時流や企業ニーズに合ったセミナー・講習会を開催した。

実施回数：10 回、参加者数：153 人

(カ) 食の開発支援

・セミナー

実施回数：2 回、参加者数：26 人

・食の開発スペースの貸出

貸出件数：3 件

(キ) 施設の有効活用による支援

開放試験室や材料試験室に設置の各種試験機器の有効活用により、中小企業者及び起業家等の円滑な事業活動の支援を行った。

使用件数：45 件

ウ 人材育成支援（企業力の強化）

（ア）ものづくり人材育成セミナー等の開催

地域製造業者の管理者育成等を目的としたセミナーを関係団体と連携して開催した。

実施回数：2 回、参加者数：36 人

エ 地域伝統工芸の振興支援

（ア）地域伝統技術講習会・講座等の開催

技術習得だけに終始せず起業スキルを身に付けることを目的として、伊勢掛軸などの工芸講座を作業実習室を活用し開催した。

講座・セミナー名	回数	延べ参加者数
伊勢掛軸講座	6 回	20 人
ジュエリー講座	12	72
ガラス細工講座	12	72

（イ）伝統工芸品 PR 事業

専門アドバイザーを配置し、木工機器を利用した製品試作等の支援、伊勢の若手家具職人グループへ技術指導や作業場所の提供等を行った。

また、伊勢の伝統工芸を親子で学べる学習会を開催した他、伊勢伝統工芸保存協会と連携し、伊勢玩具 PR 動画を製作した。

オ 雇用・就労支援

市内中小企業の人材確保の足がかりとして、大学生及び高校生並びに教職員を対象に市内中小企業者の見学会等を開催し、将来の雇用につながるよう努めた。

- ・大学生を対象とした製造企業視察（オンライン）

実施回数：2 回、参加者数：384 人

- ・高校生を対象とした企業説明会

実施回数：1 回、参加者数：155 人

新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた大学生を対象とした面接対応セミナーや企業合同説明会は中止となった。

カ 他機関の技術開発支援事業補助金等獲得支援

市内中小企業者に対して、「伊勢市創業・移転促進補助金」、「事業再構築補助金」などの申請に関して支援を行った。

支援事業者数：49 社

(2) 伊勢市産業支援センター運営協議会の開催

伊勢市産業支援センターの円滑かつ適正な運営を図るため、市内中小企業者や関係団体などで構成する運営協議会を開催し、指定管理者による運営についての意見聴取を行い、市内中小企業者の意見等を可能な限り施策に反映させた。また、同センター及び伊勢市の今後の産業支援のあり方の協議も行った。

第1回運営協議会：令和3年7月14日

第2回運営協議会：令和3年11月2日

第3回運営協議会：令和4年2月18日

12 消費生活関連事業

(1) 消費生活相談業務

伊勢市消費生活センターにおいて、架空請求や悪質商法など、消費生活に関するトラブルに対し、専門相談員による相談を行った。電話、窓口またはメール（伊勢市ホームページ問い合わせフォーム）にて相談者への助言や、相談内容によっては、事業者への確認や交渉の手助けなどを行い、消費者問題の早期解決に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、関連する相談の件数も増加傾向となったことから、国や県と連携し情報収集を行うとともに、広報紙やホームページに加え、新たにSNSなどを活用し情報を発信した。

消費生活相談件数	853件
----------	------

(2) 啓発活動

消費者被害を未然に防ぐため、地域包括支援センターと連携を取りながら、高齢者クラブを中心に出席講座を実施した。出席講座では、伊勢市消費生活センターの紹介や、被害にあわないために気をつけることなど、これまでの事例とともに啓発DVDなどを使ってわかりやすい講座を行った。

若年者に対しては、令和4年1月開催の成人式において、新成人に啓発用パンフレットを配布するとともに、成年年齢引き下げに伴う啓発のため、市内高等学校2年生を対象に啓発チラシを配布した。

また、市役所や図書館など公共施設における展示啓発に加え、市ホームページに相談事例や啓発情報を76回掲載したほか、「広報いせ」で年7回、伊勢市公式LINEで11回消費生活情報を発信した。

内 容	対 象	件数
出席講座等	高齢者クラブほか	3件
高齢者向け啓発チラシ配布	ディサービスセンターほか	1
若年者向け啓発チラシ配布	新成人、市内高等学校生徒	3
展示啓発	公共施設利用者	2

### (3) 多重債務対策

多重債務に陥っている人が誰にも相談できず、解決の糸口さえ見つからないということがないように、伊勢市消費生活センターにて相談を受け付け、債務状況・家族構成等の基本的な事項を聴き取ったうえで、司法書士や弁護士事務所の紹介・相談予約を行った。多重債務者を確実に法律専門家へ繋げることで、多重債務問題の解決に努めた。

また、三重県司法書士会の協力を得て、毎月第3木曜日に無料多重債務相談会を開催した。

無料多重債務相談会受付件数	12件
---------------	-----

### (4) 消費生活センターの広域化

消費者被害を防止し、消費者の安全・安心を確保するため、地方公共団体において消費生活センターや消費生活相談窓口の設置が求められており、単独の地方公共団体において事務の実施が困難な場合、広域連携で相談対応を行うことが可能とされている。

こうした中、令和4年度から、伊勢志摩定住自立圏域内の住民も伊勢市消費生活センターを利用できるよう相談体制を整備するため、各市町と調整を行った。

連携市町：鳥羽市、志摩市、玉城町、大紀町、南伊勢町

## ○ 労政関係

### 1 雇用対策事業

#### (1) 若年求職者等支援事業

若年者の中には、離職を繰り返す方、働く意欲はあるものの就職に至らない方、働く意欲が低下するなど社会生活そのものが困難な方など、職業的な自立が困難な方が多数存在しており、その要因は多岐に及ぶ。国が設置する「いせ若者就業サポートステーション」と連携し、個別の事情に応じた就労支援を実施した。

#### ア 伊勢市若者就職総合支援業務委託

- ・実施期間 令和3年4月20日～令和4年3月31日
- ・委託先 特定非営利活動法人いせコンビニネット
- ・委託料 4,212,508円
- ・実績
  - ・臨床心理士による心理カウンセリング  
実施回数：12回、利用者数：延べ34人
  - ・適職診断等を用いた若者キャリア開発プログラム  
実施回数：30回、利用者数：延べ67人
  - ・セミナー・講座  
実施回数：52回、利用者数：延べ197人
  - ・ボランティア体験  
実施回数：17回、利用者数：延べ41人

- ・就労体験

実施回数：72回、利用者数：延べ134人

- ・市内事業所見学会

実施回数：8回、利用者数：延べ21人

- ・ニートの若者の就職支援を目的とした講演会の開催

実施日：令和3年12月24日

場 所：いせ市民活動センター

参加者：50名

## (2) 雇用就労支援事業

### ア 障がい者雇用促進の取組

伊勢公共職業安定所と連携し、障がい者雇用の促進を目的としたセミナーを開催した。

※対面参加とオンライン参加のハイブリッド形式で開催

- ・実施日 令和4年1月27日

- ・場 所 伊勢市労働福祉会館

- ・参加者数 46人（対面：3人 オンライン：43人）

### イ 女性のための就職支援セミナーの開催

女性の就職・再就職支援を目的に、女性の就職支援セミナーを開催した。

※対面参加とオンライン参加のハイブリッド形式で開催

- ・実施日 令和3年11月24日

- ・場 所 伊勢市ハートプラザみその

- ・参加者数 11人（対面：9人 オンライン：2人）

### ウ 南三重地域就労対策協議会

若者の地元就職・定着を目的に設立した南三重地域16市町で構成する南三重地域就労対策協議会（会長：松阪市長）に負担金を支出した。

- ・負担金額 393,968円

- ・主な取組 就職マッチング支援サイトの運用

掲載事業所数 171社（令和4年3月31日時点）

登録求職者数 68人（令和4年3月31日時点）

地元企業経営者によるパネルディスカッション動画配信

事業者対象の採用支援セミナーの開催

### エ インターンシップ促進の取組

インターンシップの促進を図るため、大学生等と地域企業のマッチングを支援した。

- ・実施期間 令和3年7月21日～令和4年2月28日

- ・主な取組 受入企業の開拓、学校への広報、特設サイトの構築

受入事業所数 32社 エントリー人数 21人



オ インターンシップ参加奨励補助金

インターンシップの促進を図るため、参加者に補助金を交付した。

対 象 者	三重県外の大学等に在学し、県外に居住する者で、市内企業等へのインターンシップに参加した者
補助対象経費	・ 交通費（居住地から市内企業までの往復の移動に要した鉄道賃、船賃、航空賃） ・ 宿泊費（市内宿泊施設の利用に要する費用）
補助率	市職員の旅費算出の例により計算した補助対象経費に2分の1を乗じて得た金額（100円未満切捨） 限度額 15,000円

・ 補助実績 5件 15,900円

カ 伊勢市地元企業就職PR動画制作補助金

人材を確保するために自社の魅力を発信する動画を制作する事業者に補助金を交付した。

対 象 者	市内に事業所を有する中小企業者等
補助対象経費	動画の制作に要する経費
補助率	補助対象経費に4分の3を乗じて得た金額（1,000円未満切捨） 限度額 100,000円

・ 補助実績 3件 300,000円

(3) 中小企業退職金共済制度奨励補助金

中小企業者の従業員の福祉の増進と雇用の安定を図るため、特定退職金共済制度又は中小企業退職金共済制度に新たに従業員を加入させた事業者に補助金を交付した。

対 象 者	市内に事業所を有する中小企業者
補助対象経費	新たに制度に加入させた従業員に係る退職金共済契約を締結した月から納付した12か月分の掛金
補助率	補助対象経費に100分の20を乗じて得た金額（1,000円未満切捨） 限度額(1人につき)年額 12,000円

・ 補助実績 54件 1,933,000円

2 勤労者福祉事業

(1) 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター補助金

伊勢市、鳥羽市及び玉城町の区域内の中小企業で働く勤労者と事業主への勤労者福祉制度の充実を推進し、併せて中小企業者の発展を図るため、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターに対して管理運営費の補助を行った。

名 称	一般社団法人 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター
所在地	八日市場町13番13号(サンライフ伊勢内)
実施事業	生活安定事業、健康管理事業、教室事業、余暇活動事業、余暇施設事業など
補助金額	13,284,000円(うち伊勢市負担金額10,359,000円)
会員数 (令和4年3月末時点)	822事業所、5,089人

### 3 高年齢者労働対策事業

#### (1) 高年齢者労働能力活用事業費補助金

高齢化が進展する中、高年齢者の多様化する就業ニーズに対応するため、労働対策及び生きがい対策の一環として設立した、公益社団法人伊勢市シルバー人材センターに対して管理運営費の補助を行った。

名称	公益社団法人 伊勢市シルバー人材センター
所在地	西豊浜町141番地1
実施事業	高齢者に相応しい臨時的・短期的な就業(軽作業)、福祉・家事援助サービス等の提供
補助金額	18,476,000円
会員数等 (令和4年3月末時点)	会員数773人、延べ就業人数71,903人 受託件数3,484件、契約金額341,437,783円

### 4 勤労者福祉施設管理運営事業

#### (1) サンライフ管理運営事業

管理運営を指定管理者に委ねるとともに、施設の維持管理のため設備改修等を実施した。

指定管理者	指定管理料 (令和3年4月～令和4年3月分)
一般社団法人 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター	4,873,000円

#### ア 運営状況

##### (ア) 利用件数及び利用者数

区分	研修室	会議室	職業講習室	教養文化室	体育室	トレーニング室	計
利用件数	件 284	件 110	件 391	件 261	件 721	件 14,178	件 15,945
利用者数	人 2,566	人 1,061	人 6,656	人 3,555	人 15,300	人 14,178	人 43,316

##### (イ) 利用料収入

区分	施設利用料	設備器具 利用料	冷暖房設備 利用料	計
3. 4～4. 3	11,135,225円	256,580円	211,930円	11,603,735円

##### (ウ) 自主事業

区分	講座の種類と講座数	講座回数	延べ受講者数
趣味づくり	9種 22講座	268回	5,152人
健康づくり	10種 27講座	482	9,614
計	19種 49講座	750	14,766

#### イ 指定管理運営維持負担金

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、利用料金収入等が減少している指定管理者に対し、利用料減収分の一部(2,900,000円)を負担した。

#### (2) 労働福祉会館管理運営事業

労働者の福利増進及び市民の文化向上に寄与するため、会議室の貸室、維持管理を行った。

(ア) 使用件数及び使用者数

区 分	大会議室	第 1 会議室	第 2 会議室	第 3 会議室	第 4 会議室	計
使用件数	件 93	件 315	件 241	件 96	件 151	件 896
使用者数	人 4,457	人 4,917	人 2,619	人 1,986	人 1,579	人 15,558

(イ) 使用料収入

区 分	施設使用料	設備器具 使用料	冷暖房設備 使用料	計
3. 4～4. 3	1,631,882 円	78,840 円	228,770 円	1,939,492 円

## ○ 産業支援関係

### 1 企業立地推進事業

#### (1) 企業訪問の実施

例年は、製造業を中心に企業訪問や各種企業展への参加により、立地に関する企業ニーズ、先進事例の情報把握に努めているが、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、原則、企業訪問や企業展参加を自粛している。

工場等誘致奨励金事務のため、市内企業へ必要最低限の企業訪問を実施した。

#### (2) 伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンによる企業誘致

連携市町：鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、南伊勢町

目 的：三重県内では、道路交通網・リニア新幹線の整備状況から北勢方面への企業立地が盛んである。伊勢志摩地域には大規模な工業団地が無く、市町が個別にPRするのではなく、広域で企業誘致活動をし、操業環境を周知していくことを目的とする。

取組内容：三重県が主催する企業セミナーへの参加

伊勢志摩地域における工業団地、優遇制度のPRを行い、新たな企業の誘致や雇用の創出につなげるとともに、伊勢志摩の観光や物産の紹介をするなど、伊勢志摩を総合的にPRする予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためセミナーが中止となった。

#### (3) サン・サポート・スクエア伊勢の立地企業への支援

サン・サポート・スクエア伊勢に立地している企業の設備投資に伴う用地確保のため、外周道路に隣接する緑地の売却を行い、設備投資を支援した。

所在地	地 目	面 積	筆 数	契約日	金 額
伊勢市朝熊町字東谷 3477 番 48	雑種地	m <sup>2</sup> 1,659.60	筆 1	4. 3.29	円 7,189,387
伊勢市朝熊町字鴨谷 4838 番 508	雑種地	815.67	1	4. 3.30	3,533,482
合 計	—	2,475.27	2	—	10,722,869

#### (4) 企業立地マッチング促進事業

企業立地の促進及び産業用地等の有効活用を図るため、立地を希望する企業と産業用地の

情報を持つ宅地建物取引業者をマッチングしている。

産業用地等を紹介する不動産情報提供者として登録のある宅地建物取引業者数 25 社

## 2 工場等誘致奨励事業

### (1) 各種奨励制度の周知

市内への工場等の誘致・誘導について、企業訪問や日本立地センター（立地.net）ホームページ、中小企業基盤整備機構ホームページ、伊勢市ホームページへの掲載により各種奨励制度の周知に努めた。

### (2) 奨励措置事業者の指定

新たな設備投資を行う事業者3社について指定を行った。

### (3) 工場等誘致奨励金の交付

本市における産業の振興及び雇用の促進を図り、もって地域の活性化に資するため、伊勢市工場等立地促進条例に基づき奨励金を交付した。

事業者名	交付決定額	概要
(有) 北義工業所	円 10,500,000	用地取得奨励金
伊勢金型工業(株)	1,240,100	設備投資奨励金
(株) ブランカ	1,116,200	設備投資奨励金
ヤマナカフーズ(株)	2,366,100	設備投資奨励金
(株) 永南	938,900	設備投資奨励金
(株) 鈴工	1,167,400	設備投資奨励金
(有) 二軒茶屋餅角屋本店	1,589,700	設備投資奨励金
(株) ふじよし	1,597,200	設備投資奨励金
村田機械(株)	7,404,800	設備投資奨励金
AMI(株)	2,400,000	雇用奨励金
(株) UL J a p a n	2,200,000	雇用奨励金
(有) 北義工業所	600,000	雇用奨励金
計(12件)	33,120,400	—

# 農 林 水 産 課

## ○ 農業振興関係

### 1 農業経営基盤強化促進事業

#### (1) 経営改善・就農計画支援活動

「伊勢市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」に基づき、優れた農業経営体を目指して、農業経営の改善を計画的に進めようとする者が作成した農業経営改善計画や、農業経営の発展目標を明らかにし新たに農業経営を営もうとする者が作成した青年等就農計画を認定し、これらの計画の推進を支援した。

認定農業者 123 人（令和 4 年 3 月末現在、うち令和 3 年度新規認定 13 人）

※広域認定含む

認定新規就農者 10 人（令和 4 年 3 月末現在、うち令和 3 年度新規認定 3 人）

#### (2) 利用権設定等促進事業

効率的かつ安定的な農業経営を確立するため、関係機関・団体が農地の流動化に関する情報を共有し、連携して認定農業者等の育成すべき農業経営者への農地の利用集積を推進した。

・農業経営基盤強化促進法に基づく利用権等設定面積

区 分	面 積
利用権設定(R4.3 末現在)	ha 645.0
R3.4~R4.3 実績	
設 定	119.3
中途解約	21.1
所有権移転	0.9

### 2 農業関係制度資金の活用等

#### (1) 伊勢市特別融資制度推進会議

効率的かつ安定的な農業経営を目指す農業者が必要とする農業関係資金の適正かつ円滑な融資運営等を支援するため、関係機関による伊勢市特別融資制度推進会議において、貸付けの認定等を行った。

資金名	認定件数	借入総額
農業近代化資金	件 9	円 83,340,000
農業経営改善促進資金 (スーパーS資金)	3	48,000,000
農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金)	1	50,000,000
青年等就農資金	0	0
計	13	181,340,000

(2) 利子補給補助事業

経営改善を目指す認定農業者を支援するため、農業近代化資金等の借入れに際し、発生する利子の一部を助成した。

資金名		件数	借入残高	利子補給額	備考
農業近代化資金	上半期 (1～6月)	60	105,047,000	45,703	市単独事業
	下半期 (7～12月)	54	85,958,000	56,738	
農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金)		12	798,672,640	665,636	うち県補助金 16,050円
計		—	—	768,077	

3 新規就農者総合支援事業費補助金

(1) 農業次世代人材投資資金

新規就農するにあたって所得の確保が課題となっていることから、経営の不安定な就農初期の青年就農者に対する補助金を交付し、青年就農者の増加及び就農後の定着を図った。

事業費 9,875,000円

交付額 9,875,000円(年間)

【内訳】 750,000円(半年分)×対象者1名分(交付期間終了)  
 +1,500,000円(1年分)×対象者4名分(継続)  
 +1,500,000円(1年分)×対象者2名分(新規)  
 +125,000円(1月分)×対象者1名分(新規)

※令和2年度以前の採択者においては、経営開始1年目は150万円。経営開始2年目以降は(350万円－前年の総所得)×3/5により得られた額。ただし、前年の総所得が100万円未満の場合は150万円。

令和3年度の採択者においては、経営開始1年目から3年目は150万円。経営開始4年目及び5年目は120万円。ただし、前年の世帯の所得が600万円以上の場合には交付無し。

(2) 伊勢市新規就農者支援事業補助金

本市の農業後継者及び担い手の確保・育成を図るため、認定新規就農者に対し、農業経営の開始に要する経費の一部を支援し、就農後の定着を図った。

実施事業者	作物	事業内容	事業費	補助額
認定新規就農者 (個人)	いちご	液肥自動混入器導入	241,450円	120,000円

(市単独事業)

※補助金の額は、補助対象経費に2分の1を乗じて得た額(その額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額)とし、認定新規就農者として認定されている期間内において累計100万円を限度とする。

4 担い手確保・経営強化支援事業補助金

地域の中心となる農業経営体等が、融資を活用して農業用機械等を導入し経営改善・発展に取り組む場合に、事業費の1/2を上限とし融資残額に対して補助を行った。

実施事業者	作物	事業内容	事業費	補助額
(有)松幸農産	主穀	事業の拡大計画に基づく主穀類の生産に係る農業機械、乾燥機等の導入	円 41,984,525	円 19,081,000

(市補助額に対し国・県全額補助)

5 強い農業・担い手づくり総合支援補助金

地域の中心となる農業経営体等が、融資を活用して農業用機械等を導入し経営改善・発展に取り組む場合に、事業費の3/10を上限とし融資残額に対して補助を行った。

実施事業者	作物	事業内容	事業費	補助額
認定農業者 (個人)	主穀	事業の拡大計画に基づく主穀類の生産に係る農業機械、乾燥機等の導入	円 9,009,600	円 2,456,000

(市補助額に対し国・県全額補助)

6 遊休農地活用事業

農村環境や農業経営の現場で様々な問題を引き起こす遊休農地の解消を図るため、地域農業の担い手が遊休農地を活用して営農するにあたり、その再開に必要な草刈りや耕起など、遊休農地を営農可能な状態に回復するための支援を行った。

実施農業者	事業費	解消面積	補助額
(株)ケアプロフェッショナル	円 429,198	a 19	円 190,000

交付単価 補助対象経費の2分の1以内の額(上限:10,000円/a)(市単独事業)

年度	遊休農地面積	農地全体に占める割合
元	ha 96.6	% 3.0
2	94.4	2.9
3	88.4	2.7

7 農業振興事業

農家のグループやJA伊勢生産者部会、集落営農組織などが行う地域農業の振興に資する取組について、補助金を交付することで支援を行った。

(1) 三重県伊勢志摩指導農業士会活動助成金

地域農業のリーダーである指導農業士会が行う農業後継者育成の活動及び地域農業の振興に資する活動に対する支援を行った。

交付先 伊勢志摩指導農業士会

事業費 1,135,400円

補助額 100,000円(20,000円/人×市内在住5人分)(市単独事業)

(2) 三重県伊勢志摩青年農業士連絡協議会活動助成金

地域農業の担い手である青年農業士連絡協議会が行う農業技術向上のための研修交流及び地域農業の振興に資する活動に対する支援を行った。

交付先 伊勢志摩青年農業士連絡協議会  
 事業費 716,000 円  
 補助額 50,000 円 (10,000 円/人×市内在住 5 人分) (市単独事業)

(3) 農業振興補助金

農業が持続的に営まれることで、農村環境が良好に保たれることから、農業者等の地域農業や農業振興に資する取組を支援することで、担い手の育成確保や生産活動の強化を図った。

実施事業者	作物	事業内容	事業費	補助額
(有) 伊勢アグリ・トラスト	主穀	GPS 付田植え機の導入による水稲定植作業の効率化を図る	円 3,900,000	円 1,170,000
伊勢農業協同組合	主穀	子会社(株) あぐりん伊勢においてコンバインを導入し営農体制を拡充することで、農地の耕作放棄地化を防止する	10,969,200	2,580,000

(市単独事業)

(4) 特色ある農産物づくり支援事業補助金

有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対して支援を行い、地域農業の活性化を図った。

実施事業	作物	事業内容	事業費	補助額
JA 伊勢洋花部会	ガーベラ	冷蔵庫内除湿器を導入し、花卉の結露を防ぐことで鮮度保持体制の高度化を図る	円 318,500	円 159,250

(市単独事業)

(5) 農業振興地域整備促進事業

農業振興地域整備計画に基づき地域内における計画的土地利用を進める中、農業諸情勢の変化に対応して、地域の土地利用の動向を踏まえ、他の土地利用との調整を図り、地域の特性及び課題に応えるべく、農用地区域の見直しを行った。

農用地利用計画変更面積：令和 3 年度申出による変更及び変更予定分

利用計画変更分	件数	筆数	面積
農用地除外	件 3	筆 3	m <sup>2</sup> 1,846.70
農用地編入	1	1	2,411.00
用途変更(農地から施設用地)	3	4	6,760.00
用途変更(施設用地から農地)	1	1	36.00

事業費 114,000 円 (市単独事業)

(6) 産地生産基盤パワーアップ事業

一定のまとまりを持った産地において、機械や施設等の導入を行うことで、産地全体の販



売額等の10%以上の増加を目標として事業に取り組むものに対して、計画の作成等に関する支援を行った。

産地の範囲	作物	対象者数 (うち伊勢市内)	事業内容	事業費 (うち伊勢市内)	補助額 (うち伊勢市内)
伊勢市、玉城町、 度会町、大紀町、 鳥羽市、志摩市、 紀北町、御浜町	いちご	伊勢いちご スマート農業 研究会会員  18人 (6人)	栽培の高度化にか かる機械の導入や ハウスの建設に取 り組み、規模拡大や 品質向上による販 売額の増加を図る	円  277,176,768 (146,219,638)	円  124,875,000 (65,602,000)

(伊勢市農業再生協議会事業のため、対象者に対して県より直接補助)

#### 8 経営所得安定対策推進事業

水田を活用して小麦・野菜等を作付している農業者に対して交付金を交付することにより、農業経営の安定や農地の有効利用を図った。

推進事業費 6,822,241円 (補助4,773,000円 市単独2,049,241円)

交付対象者 181名

交付額 365,998,557円 (国から対象者へ直接交付)

#### 9 6次産業化推進事業

農産物の6次産業化を主体となっていく農業者やそれらを構成する団体に対し、市内産の農産物を使用した新たな加工品の開発や販売などに係る必要な経費に対して支援を行い、市内の農産物の6次産業化の推進を図った。

実施事業者	作物	事業内容	事業費	補助額
認定農業者 (個人)	主穀	自らが生産した伊勢市内産のコメを活用した加工品(もち)の製造・販売による所得の拡大を図る。	円 1,166,000	円 500,000

(市単独事業)

#### 10 人・農地問題解決加速化支援事業

農業が厳しい状況に直面している中で、持続可能な力強い農業を実現するためには、基本となる人と農地の問題を一体的に解決していく必要がある。そこで、それぞれの集落・地域において話し合いを行い、集落・地域が抱える人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」となる「人・農地プラン(地域農業マスタープラン)」の作成に関する支援を行った。

・人・農地プラン作成地域 13地区 【栗野町、小俣町西新村、小俣町元町・相合・東新村、小俣町湯田、小俣町明野、小俣町宮前、中須町、上地町、西豊浜町上区、西豊浜町森区、西豊浜町小川区、植山町、伊勢市全域(作成済地域を除く。)]

#### 11 農地中間管理事業

今後、農業者の減少により耕作者のいない農地の増加が見込まれる。そこで、「人・農地プラン(地域農業マスタープラン)」と連携しつつ、農地の中間受け皿となる農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化に対する調整を行った。

農地中間管理事業を活用した貸借面積

R3 年度	累計面積
ha 39.5	ha 114.1

機構集積協力金

交付金種類	申請者	交付対象	補助額
地域集積協力金	農業者組織 自治会など	地域内の2割を超える農地を機構に貸付けた地域	円 399,000
経営転換協力金	地権者	機構に農地を貸付けることにより複数ある部門（田、畑、果樹等）の一部を廃止し経営転換するもしくは、農業をリタイヤする農家	181,500

(全額国庫補助)

12 農産物ブランド化推進事業

市内農産物（青ねぎ、いちご、トマト、かぼちゃ、蓮台寺柿、横輪いも）の生産量拡大、販路拡大、高付加価値化、知名度の向上を推進する取組を行う団体等に対する支援や、地域農業の活性化を図るため、関係団体と調整を行った。

13 伊勢のいちご産地強化事業

(1) 特色ある農産物づくり支援事業補助金

新たにいちごを生産しようとする者が新規就農者として独立するまでの研修に必要な資材や施設整備等に対して支援を行った。

実施事業者	作物	事業内容	事業費	補助額
(株) あぐりん伊勢	いちご	いちごハウス建設 研修用機材一式の購入	円 154,000	円 77,000

(市単独事業)

(2) 伊勢市新規就農者支援事業補助金

本市の農業後継者及び担い手の確保・育成を図るため、(株) あぐりん伊勢で研修を実施し独立自営就農を行う認定新規就農者に対し、農業経営の開始に要する経費の一部を支援し、就農後の定着を図った。

実施事業者	作物	事業内容	事業費	補助額
認定新規就農者 (個人)	いちご	予冷庫の購入	円 1,162,700	円 581,000

(市単独事業)

※補助金の額は、補助対象経費に2分の1を乗じて得た額（その額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額）とし、認定新規就農者として認定されている期間内において累計100万円を限度とする。

14 水田等環境改善事業

市内の農地において農業者が行うスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）防除事業に要する経費に対して支援し、農業の生産性の向上及び所得の安定並びに農作物被害の軽減を図った。

事業名	申請件数	事業費	補助額
駆除事業	件 20	円 1,072,523	円 714,950
予防事業	36	1,528,643	1,004,820
計	56	2,601,166	1,719,770

(市単独事業)

15 地産地消推進事業

(1) 伊勢市地産地消の店認定制度

市内産農林水産物を食材として取り扱う飲食店等を、伊勢市地産地消の店として認定し、当該店の地産地消に係る取組を消費者に周知することにより、市内産農林水産物の消費及び需要の喚起を図った。(事業費 102,520 円・市単独事業)

認定店舗数：55 店舗（飲食店 35、宿泊施設 2、直売所 6、小売店 6、量販店 6）

(令和 4 年 3 月末現在)

(2) 伊勢市農産物等消費推進事業補助金

地域農業における農村コミュニティの再構築や地域農業の維持発展を目的に、地域で採れた農産物などを地域で消費する「地産地消」の活動を行う農産物直売所に対して消耗品や資材面で支援を行った。

交付先	事業内容	事業費	補助額
まぜ楽市	法被の購入	円 42,900	円 42,900

(市単独事業)

(3) 学校給食への市内農水産物の活用支援

学校給食に市内産農水産物を活用し、地元食材を紹介することにより、生産者への感謝の念、地域産業や文化を理解し、郷土への関心を深め、より健全な食生活を実践できる児童生徒の育成を図った。

事業主体 伊勢市学校給食協会

負担金 1,095,827 円（市単独事業）

提供食材	提供時期	回数
蓮台寺柿	10 月	1 回
青ねぎ	11 月	3 回
いちご	1 月	1 回
のり（きざみ・焼き）	2 月	1 回

(4) いせっ子朝食メニューコンクールによる地産地消推進

伊勢市内の地場産物を活用した朝食のメニューを子どもたち自身が考え調理することで、自らの食生活に関心を持ち、食の大切さや地場産物とその生産者への理解を深めるため、学

校教育課と共同で「いせっ子朝食メニューコンクール」を実施した。

また、コンクールで受賞したメニューを活用し地産地消の推進を図った。

(事業費 36,052 円・市単独事業)

## 16 農業体験学習事業

食育推進の一環として農業体験を含む食育の機会を設け、食の大切さ、食を育む産業である農業の大切さなどについて考えてもらう機会を提供した。

なお、実施予定であった稲作体験（稲刈り）および青ねぎ収穫等体験については、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

事業費 380,441 円（市単独事業）

実施日	対 象	内 容
<b>【水稻】</b>		
3. 4. 22	修道小 5 年生 ( 61 人)	田植え：小俣町
〃	みなと小 5 年生 ( 53 人)	〃
〃	早修小 5 年生 ( 16 人)	〃
3. 4. 27	豊浜東小 5 年生 ( 12 人)	田植え：村松町
〃	豊浜西小 5 年生 ( 29 人)	〃
〃	厚生小 5 年生 ( 47 人)	〃
<b>【蓮台寺柿】</b>		
3. 10. 28	佐八小 3 年生 ( 15 人)	収穫等：勢田町
<b>【横輪いも】</b>		
3. 11. 10	上野小 4 年生 ( 16 人)	収穫等：横輪町
<b>【花き】</b>		
4. 2. 14	北浜小 5 年生 ( 13 人)	フラワーアレンジメント：小学校

## ○ 施設管理関係

### 1 農業用施設維持補修

農道及び農業用排水路の機能を保持するため、修繕工事や草刈業務委託、重機借上・原材料支給等を行い、農村環境・農業基盤の保全を図った。

#### (1) 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
粟 野 町 地 内	菱川除草業務委託	除草業務一式	円 91,716	3. 6. 24	3. 7. 30
東 豊 浜 町 地 内	東豊浜町地内排水路樹木伐採業務委託	樹木伐採一式	77,000	3. 6. 25	3. 7. 7
二見町松下 地 内 ほか	二見町ふるさと農道除草業務委託	除草業務一式	90,964	3. 6. 29	3. 8. 10
中 須 町 地 内	菱川除草（その2）業務委託	〃	99,000	3. 7. 1	3. 7. 14
二見町今一色 地 内	二見町今一色地内排水路除草業務委託	〃	99,000	3. 7. 16	3. 8. 18

神 社 港 地 内	馬瀬川除草業務委託	除草業務一式	円 99,000	3. 7. 21	3. 8. 20
小 俣 町 湯 田 地 内	小俣町湯田地内排水路樹木 伐採業務委託	樹木伐採一式	22,000	3. 7. 28	3. 8. 3
大 倉 町 地 内	大倉町地内農道樹木伐採業 務委託	〃	99,000	3. 8. 17	3. 8. 25
一之木 4 丁目 地 内	農業用排水施設(ホトス池) 除草業務委託	除草業務一式	55,000	3. 9. 14	3. 9. 21
中 須 町 地 内	菱川除草(その3)業務委 託	〃	80,300	3. 10. 6	3. 10. 14
東 大 淀 町 地 内 ほ か	農道台帳修正業務委託	農道台帳修正 4.78 km	3,969,900	3. 10. 8	4. 3. 9
中 須 町 地 内	中須町地内排水路法面スズ メバチ駆除業務委託	スズメバチ駆除 一式	33,000	3. 10. 15	3. 10. 25
二見 町 溝 口 地 内	二見町溝口地内排水路伐採 業務委託	伐採業務一式	99,000	3. 12. 8	3. 12. 21
計	13 件	—	4,914,880	—	—

(2) 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
朝 熊 町 地 内	三津ポンプ場修繕(その1) 工事	仕切弁設置 1 か所	円 3,058,000	3. 4. 1	3. 4. 30
小 俣 町 湯 田 地 先	小俣町湯田地先排水路修繕 工事	排水路修繕一式	484,000	3. 4. 26	3. 5. 6
小 俣 町 湯 田 地 内	小俣町湯田地内排水路法面 修繕工事	排水路法面修繕 一式	99,000	3. 5. 6	3. 5. 12
御 菌 町 長 屋 地 内	御菌町長屋地内農道修繕工 事	農道修繕一式	99,000	3. 5. 6	3. 5. 12
楠 部 町 地 内	楠部町地内排水路修繕工事	排水路修繕一式	99,000	3. 5. 7	3. 5. 14
朝 熊 町 地 内	三津ポンプ場修繕(その3) 工事	電気設備修繕一 式	66,000	3. 5. 10	3. 5. 21
〃	三津ポンプ場修繕(その2) 工事	スライドゲート 修繕一式	12,342,000	3. 5. 14	3. 11. 30
御 菌 町 高 向 地 内	御菌町高向地内排水路浚渫 工事	排水路浚渫一式	1,243,000	3. 5. 26	3. 6. 24
上 地 町 地 内	上地町地内農道修繕工事	農道修繕一式	99,000	3. 5. 27	3. 6. 21
檜 原 町 地 内	檜原町地内排水路浚渫工事	排水路浚渫一式	99,000	3. 7. 6	3. 7. 14
朝 熊 町 地 内	朝熊町地内排水路法面修繕 工事	排水路法面修繕 一式	99,000	3. 7. 26	3. 8. 4

御 菌 町 小 林 地 内	御菌町小林地内排水路法面 修繕工事	排水路法面修繕 一式	円 99,000	3. 7. 29	3. 8. 18
〃	御菌町小林地内排水路法面 (その2) 修繕工事	〃	99,000	3. 8. 20	3. 9. 10
佐 八 町 地 内	佐八町地内排水路浚渫工事	排水路浚渫一式	940,500	3. 10. 18	3. 12. 16
上 地 町 地 内	上地町地内排水路修繕工事	張ブロック修繕 一式	99,000	3. 10. 26	3. 11. 2
一 色 町 地 内	農道一色向崎東浜線区画線 設置工事	区画線一式	69,080	3. 11. 8	3. 11. 19
小 俣 町 新 村 地 内	小俣町新村地内排水路柵蓋 修繕工事	柵蓋取替一式	56,100	3. 12. 9	4. 1. 7
馬 瀬 町 地 内	馬瀬町地内排水路修繕工事	張コンクリート 17.8 m <sup>2</sup>	297,000	3. 12. 14	4. 1. 18
一 色 町 地 内	一色町地内遊水池護岸ほか 修繕工事	遊水池護岸等修繕 一式	93,500	3. 12. 22	4. 1. 4
村 松 町 地 内	村松町地内排水路法面修繕 工事	張コンクリート 96 m <sup>2</sup>	1,265,000	3. 12. 22	4. 3. 15
佐 八 町 地 内	佐八町地内排水路法面修繕 工事	法面復旧一式	770,000	3. 12. 24	4. 1. 17
一 色 町 地 内	一色町地内排水路柵蓋修繕 工事	柵蓋取替一式	27,918	3. 12. 28	4. 1. 14
二 見 町 溝 口 地 内	二見町溝口地内フラップゲ ート修繕工事	フラップゲート 修繕一式	67,100	4. 1. 21	4. 2. 17
津 村 町 地 内	津村町地内農道舗装工事	農道舗装 155 m <sup>2</sup>	1,122,000	4. 2. 1	4. 3. 25
大 湊 町 地 内	大湊町地内排水路浚渫工事	排水路浚渫一式	1,229,800	4. 2. 7	4. 3. 25
黒 瀬 町 地 内	黒瀬町地内排水路修繕工事	張コンクリート 75.6 m <sup>2</sup>	1,012,000	4. 2. 14	4. 3. 24
二 見 町 江 地 内 ほか	松下ふるさと線修繕工事	舗装修繕一式	449,900	4. 3. 3	4. 3. 28
上 野 町 地 内	農道上野広岡線修繕工事	〃	374,000	4. 3. 7	4. 3. 28
計	28 件	—	25,857,898	—	—

(3) 重機借上・原材料支給

	施 行 件 数	金 額
重 機 借 上	黒瀬町地内ほか 15 件	円 4,476,120
原 材 料 支 給	黒瀬町地内ほか 4 件	492,182
計	21 件	4,968,302

## 2 伊勢市都市農山村交流促進施設管理

### (1) 施設管理

横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市都市農山村交流促進施設 郷の恵「風輪」
- ・指定管理者 横輪町活性化委員会
- ・令和3年度指定管理委託期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日
- ・指定管理委託料 3,065,700円
- ・施設利用状況等

期 間	開館日数	来客人数
3. 4. 1～3. 4. 30	24	867
3. 5. 1～3. 5. 31	23	210
3. 6. 1～3. 6. 30	22	151
3. 7. 1～3. 7. 31	22	185
3. 8. 1～3. 8. 31	22	197
3. 9. 1～3. 9. 30	22	185
3.10. 1～3.10. 31	23	218
3.11. 1～3.11. 30	21	534
3.12. 1～3.12. 31	21	340
4. 1. 1～4. 1. 31	19	178
4. 2. 1～4. 2. 28	20	183
4. 3. 1～4. 3. 31	25	436
計	264	3,684

### (2) 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
横 輪 町 地 内	宮山管理業務委託	管理業務一式	円 300,000	3. 4. 1	4. 3. 25

## 3 二見しょうぶロマンの森維持管理

### (1) 施設管理

伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、農村地域資源を活用し地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設  
「民話の駅蘇民」「しょうぶ園」
- ・指定管理者 二見しょうぶロマンの森維持管理組合
- ・令和3年度指定管理委託期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日

・指定管理委託料 5,041,300 円

・施設利用状況

期 間	開館日数	来客人数
	日	人
3. 4. 1～3. 4. 30	30	10,763
3. 5. 1～3. 5. 31	31	12,273
3. 6. 1～3. 6. 30	30	13,863
3. 7. 1～3. 7. 31	31	12,094
3. 8. 1～3. 8. 31	29	10,057
3. 9. 1～3. 9. 30	30	10,233
3. 10. 1～3. 10. 31	31	9,838
3. 11. 1～3. 11. 30	30	10,041
3. 12. 1～3. 12. 31	31	12,073
4. 1. 1～4. 1. 31	28	7,970
4. 2. 1～4. 2. 28	28	8,561
4. 3. 1～4. 3. 31	31	10,602
計	360	128,368

(2) 負担金

キャッシュレス決済に係る費用を市が負担し、民話の駅蘇民をキャッシュレス化することにより、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び利用者へのサービス向上に努めた。

導入費用：1,606,770 円（レジ3台）

決済手数料： 77,738 円（2～3月分）

(3) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
二見町松下 地 内	(注) 民話の駅蘇民外部塗装工事	外壁塗装一式	円 3,140,500	3. 10. 22	3. 12. 14

(注) 営繕課施行

4 サンファームおばた維持管理

経営構造対策事業によって整備した産直施設であるサンファームおばたの管理運営を行い、農家の市場出荷以外の販路を確保し、農業者の経営安定、担い手の育成等を図った。

(1) 市有財産の貸付

所 在 地	構 造	建物面積	貸 付 先	貸付料(年額)	用 途	期 間
小俣町湯田 5 5 番 地	鉄骨造折板 葺平屋建	m <sup>2</sup> 429.12	有限会社 サンファーム おばた	円 641,040 (借地料含む)	農産物販売 (産直市)	自 3. 4. 1 至 4. 3. 31



(2) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
小 俣 町 湯 田 地 内	サンファームおばた空調設 備修繕工事	パッケージエアコ ン室外機修繕一式	円 99,000	3. 5. 10	3. 5. 28
〃	サンファームおばた排煙オ ペレーター修繕工事	排煙オペレーター 修繕一式	41,206	3. 5. 10	3. 6. 3
〃	サンファームおばた音響設 備修繕工事	スピーカー取替 1か所	22,000	3. 9. 14	3. 10. 14
計	3件	—	162,206	—	—

5 多面的機能支払交付金事業

農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつあり、地域の共同活動の困難化に伴い、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理に対する担い手農家の負担の増加も懸念されるところである。当事業により地域においての農業用排水路等の保全管理と施設の長寿命化の活動を行うことにより農村環境の保全、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されることを目的とする。

当事業については、平成 26 年度は事業の移行期間、平成 27 年度に本格実施となり法律に基づき実施する事業となった。（農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律）

令和 3 年度より 1 組織活動を開始した。

(1) 農地維持支払、資源向上支払（地域資源の質的向上を図る共同活動）

事業実施期間は 5 年間とされており、従前の農地・水保全管理支払交付金事業から継続し実施する組織については、それぞれ制度実施年度から 5 か年が活動期間となる。

負 担 率 国 1 / 2 県 1 / 4 市 1 / 4

交付金単価（国、県、市の合計）（事業を開始した年度によりそれぞれ変動）

◆農地維持支払 田：3,000 円/10a 畑：2,000 円/10a

◆資源向上支払（地域資源の質的向上を図る共同活動）

○従前の農地・水保全管理支払交付金事業 5 年間未実施組織及び資源向上支払（施設の長寿命化）未実施組織 田：2,400 円/10a 畑：1,440 円/10a

○従前の農地・水保全管理支払交付金事業 5 年間実施組織又は資源向上支払（施設の長寿命化）実施組織 田：1,800 円/10a 畑：1,080 円/10a

(2) 資源向上支払（施設の長寿命化のための活動）

事業実施期間は 3 年間とされており、3 か年が活動期間となる。

また、平成 28 年度からの法改正により、交付上限金額は対象農用地の面積に単価を乗じた金額又は、保全管理する区域内に存在する農業集落数に 200 万円を乗じた金額のいずれか小さい額と定められた。

負 担 率 国 1 / 2 県 1 / 4 市 1 / 4

交付金単価（国、県、市の合計） 田：4,400円/10a 畑：2,000円/10a

(3) 令和3年度活動組織交付額一覧表

◆農地維持支払・資源向上支払（地域資源の質的向上を図る共同活動）

活動組織名	認定の位置	農用地面積	交付額	うち市負担額	活動開始年度
一色資源等保全協議会	一色町地域	a 4,504	円 2,158,524	円 539,631	H29
森区ふるさと保全活動隊	西豊浜町森区地域	5,019	2,464,928	616,232	H29
伊勢北部地区自然を守る会	北部地域	6,771	2,807,696	701,924	H29
有滝の自然を守る会	有滝町地域	2,273	1,068,336	267,084	H29
村松ふるさと保全会	村松町地域	9,816	4,653,200	1,163,300	H29
柏町みのり会	柏町地域	5,480	2,620,424	655,106	H29
上地・水・土・里グループ	上地町地域	16,003	7,601,976	1,900,494	H29
こころ豊かなあわの村	栗野町地域	2,766	1,297,752	324,438	H29
鹿海町農地・水保全活動組織	鹿海町地域	2,103	1,009,440	252,360	H29
上野町日向野里	上野町地域	5,159	2,474,600	618,650	H29
弁天様協議会	円座町地域	3,679	1,764,480	441,120	H29
津村町地区農地・水・環境保全会	津村町地域	2,956	1,285,032	321,258	H29
楠部地区農地・水・環境保全会	楠部町地域	3,119	1,493,336	373,334	H29
佐八地区農地・水・環境保全会	佐八町地域	3,342	1,603,300	400,825	H29
中須町農地・水保全会	中須町地域	2,908	1,340,456	335,114	H29
まぜ創生グループ	馬瀬町地域	2,583	1,181,188	295,297	H29
通町ふるさと再生活動隊	通町地域	1,264	606,720	151,680	H29
水土里プロジェクトおばた	小俣町地域	21,350	9,530,632	2,382,658	H29
磯地区地域資源保全会	磯町地域	4,078	1,571,988	392,997	H29
荘田園環境を守る会	二見町荘地域	1,448	659,436	164,859	H29
※清し有田佐田沖環境保全会	小俣町地域	208	97,432	24,358	H29
上区資源環境保全プロジェクト	西豊浜町上区地域	12,353	5,836,976	1,459,244	H30
朝熊町地域資源保全会	朝熊町地域	2,424	1,299,160	324,790	H30
東大淀を守る会	東大淀町地域	17,791	8,451,444	2,112,861	R元
黒瀬町農地保全会	黒瀬町地域	1,342	644,160	161,040	R元
西環境保全会	二見町西地域	3,910	1,685,224	421,306	R2
小木町農地管理会	小木町地域	2,727	1,272,320	318,080	R2
御菌町高向農地環境保全会	御菌町高向地域	5,615	2,246,532	561,633	R3
計	27組織	152,991	70,726,692	17,681,673	—

※伊勢市の面積を含む玉城町組織（平成30年度より市町を跨ぎ活動する組織については当該市町分の交付となった。）

◆資源向上支払（施設の長寿命化のための活動）

資源向上支払（施設の長寿命化のための活動）については、今年度の交付額は削減され要望額に対し約73.5%の割当となった。

活動組織名	認定の位置	農用地面積	交付額	うち市負担額	活動開始年度
一色資源等保全協議会	一色町地域	a 4,504	円 1,455,401	円 363,850	R2
伊勢北部地区自然を守る会	北部地域	6,771	1,740,249	435,062	R2
柏町みのり会	柏町地域	5,480	1,473,564	368,391	R2
上地・水・土・里グループ	上地町地域	16,003	5,106,222	1,276,556	R2
こころ豊かなあわの村	栗野町地域	5,532	1,473,564	368,391	R2
上野町日向野里	上野町地域	5,159	1,473,564	368,391	R2
弁天様協議会	円座町地域	3,679	1,189,812	297,453	R2
津村町地区農地・水・環境保全会	津村町地域	2,956	824,532	206,133	R2
楠部地区農地・水・環境保全会	楠部町地域	3,119	1,007,240	251,810	R2
佐八地区農地・水・環境保全会	佐八町地域	3,342	1,082,539	270,635	R2
中須町農地・水保全会	中須町地域	2,908	885,788	221,447	R2
まぜ創生グループ	馬瀬町地域	2,583	777,069	194,267	R2
水土里プロジェクトおばた	小俣町地域	28,093	8,124,298	2,031,074	R2
上区資源環境保全プロジェクト	西豊浜町上区地域	12,353	1,473,564	368,391	R2
東大淀を守る会	東大淀町地域	17,791	1,473,564	368,391	R2
黒瀬町農地保全会	黒瀬町地域	1,342	435,055	108,764	R2
小木町農地管理会	小木町地域	2,727	855,165	213,791	R2
西環境保全会	二見町西地域	3,910	1,071,995	267,999	R3
荘田園環境を守る会	二見町荘地域	1,448	432,815	108,204	R3
計	19 組織	129,700	32,356,000	8,089,000	—

## ○ 畜産関係

### 1 松阪食肉公社運営事業

食肉の安全を確保するため、伊勢市を含む主要株主により三重県松阪食肉公社施設の経費を負担し、維持管理対策を図った。

事業主体 三重県松阪食肉公社

負担金 3,365,000 円

### 2 伊勢市内家畜頭数（令和4年3月末現在）

種別	頭数
肉牛	1,205 頭(うち松阪牛977 頭)
豚	362 頭
鶏	21,570 羽

## ○ 農業基盤整備関係

### 1 土地改良事業補助等

農業経営の安定に資するため、土地改良事業に対する経費を支出し、事業の円滑な推進及び農業農村の基盤整備を進めた。

(1) 補助金

土地改良区等が実施した事業に対して市の基準による補助金を交付した。

補助金 支出先	施行 年度	事業名	事業概要	事業費	市補助額
宮川用水 土地改良区	R3	土地改良施設維持 管理適正化事業	二号幹線水路整備補修	円 8,000,000	円 782,400
〃	〃	〃	御菌3号線揚水機場整 備補修	6,000,000	1,200,000
〃	〃	農業水路等長寿命 化・防災減災事業	浜郷地区用水路整備補 修	11,000,000	1,705,000
小俣町 土地改良区	〃	米子地内樋門修繕 工事	樋門修繕	385,000	385,000
村松 土地改良区	〃	村松地区農道舗装 工事	農道整備	968,000	968,000
伊勢北部 土地改良区	H13～ H15	(注) 県営ほ場整備事業 (伊勢北部地区)	区画整理工事	898,981	898,981
〃	R3	伊勢北部地区農道 舗装工事	農道舗装	3,000,000	3,000,000
〃	〃	東豊浜町農道舗装 工事	〃	2,200,000	2,200,000
豊浜 土地改良区	H13	(注) 基盤整備促進事業 (大方後地区)	用水路工事他	379,688	379,688
五十鈴川用水 土地改良区	R3	木出頭首工維持管 理費(鹿海町地内)	電気料金ほか	353,239	353,239
計		10件	—	33,184,908	11,872,308

(注)「市補助額」は償還金に対する補助金額

(2) 県営事業負担金

パイプライン整備等の国営関連県営事業に対して負担金を支出した。

事業名・地区名(事業期間)	工事概要	事業費	市負担額
(注1) 令和2年度 県営かんがい排水事業 宮川4工区(H18年度～R5年度) ・負担区分国50%、県25%	用水路工 2,534.8m 農業用排水施設	千円 805,000	円 75,000,000
【幹線】市15%	測量設計 一式		【負担額計】 120,750,000
宮川用水土地改良区10%	用地補償 一式		[令和2年度] 45,750,000
【支線】市8.333%			[令和3年度] 75,000,000
宮川右岸御菌土地改良区16.667%			

(注1) 令和2年度 高度水利機能確保基盤整備事業 小俣地区(H21年度～R3年度) ・負担区分国55%、県27.5% 【幹線】市10% 宮川用水土地改良区7.5% 【支線】市3.15% 小俣町土地改良区14.35% 【農道】市17.5%	舗装復旧工一式	千円  71,246	円  598,500 【負担額計】 5,395,249 [令和2年度] 4,796,749 [令和3年度] 598,500
(注1) 令和2年度 高度水利機能確保基盤整備事業 宮川左岸地区(H26年度～R5年度) ・負担区分国55%、県27.5% 【幹線】市町10% (うち伊勢市4.887%) 宮川用水土地改良区7.5% 【支線】市町3.307% (うち伊勢市1.740%) 宮川左岸第二土地改良区14.193%	農業用排水施設 2,700m 測量設計 一式 用地補償 一式	720,000	27,171,720 【負担額計】 35,172,458 [令和2年度] 8,000,738 [令和3年度] 27,171,720
(注1) 令和2年度 農業用施設アスベスト対策事業 城田・下外城田地区(H26年度～R5年度) ・負担区分 国55%、県35%、市町5% (うち伊勢市1.918%) 宮川左岸第二土地改良区5%	用水路工 4,920m 測量設計 一式 用地補償 一式	260,000	4,027,800 【負担額計】 4,986,800 [令和2年度] 959,000 [令和3年度] 4,027,800
(注1) 令和2年度 県営かんがい排水事業 田丸地区 (H27年度～R3年度) ・負担区分 国55%、県25%、市町12.5% (うち伊勢市7.215%) 宮川用水土地改良区7.5%	農業用排水施設 一式 測量設計 一式 用地補償 一式	30,000	293,651 【負担額計】 2,164,500 [令和2年度] 1,870,849 [令和3年度] 293,651
(注2) 令和3年度 県営かんがい排水事業 宮川4工区(H18年度～R5年度) ・負担区分国50%、県29% 【幹線】市15% 宮川用水土地改良区6% 【支線】市8.333% 宮川右岸御園土地改良区12.667%	農業用排水施設一式	40,000	2,175,000 【負担額計】 6,000,000 [令和3年度] 2,175,000 [令和4年度] 3,825,000

令和3年度 高度水利機能確保基盤整備事業 小俣地区(H21年度～R3年度) ・負担区分国55%、県27.5% 【幹線】市10% 宮川用水土地改良区7.5% 【支線】市3.15% 小俣町土地改良区14.35% 【農道】市17.5%	舗装復旧工一式	千円 36,046	円 2,916,449 【負担額計】 2,916,449 [令和3年度] 2,916,449 [令和4年度] 0
(注2) 令和3年度 高度水利機能確保基盤整備事業 宮川左岸地区(H26年度～R5年度) ・負担区分国55%、県27.5% 【幹線】市町10% (うち伊勢市4.887%) 宮川用水土地改良区7.5% 【支線】市町3.307% (うち伊勢市1.740%) 宮川左岸第二土地改良区14.193%	農業用排水施設 8,010m 測量設計 一式 用地補償 一式	509,650	2,247,273 【負担額計】 11,476,773 [令和3年度] 2,247,273 [令和4年度] 9,229,500
(注2) 令和3年度 農業用施設アスベスト対策事業 城田・下外城田地区(H26年度～R5年度) ・負担区分 国55%、県35%、市町5% (うち伊勢市1.918%) 宮川左岸第二土地改良区5%	用水路工 1,100m 測量設計 一式 用地補償 一式	80,000	1,342,600 【負担額計】 1,534,400 [令和3年度] 1,342,600 [令和4年度] 191,800
計	9件	2,551,942	115,772,993

※合計は、各行の最上段を合算

(注1) 令和2年度から一部繰越

(注2) 令和4年度へ一部繰越

## 2 農道整備事業

農業用道路において、舗装を行い、農業用車両が安全に通行できるよう適切な維持管理を行った。

### (1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町新村地内	小俣町新村地内道路修繕工事	農道舗装 60.4 m <sup>2</sup>	円 462,000	3. 4. 21	3. 5. 11
一色町地内	一色町地内農道舗装等工事	農道舗装 220 m <sup>2</sup> 暗渠 2.5m	3,323,100	3. 12. 3	4. 3. 15
神田久志本町地内ほか	神田久志本町地内ほか農道舗装工事	農道舗装 269 m <sup>2</sup>	1,886,500	3. 12. 24	4. 2. 28

中須町内 中地	中須町地内農道舗装工事	農道舗装 261.3 m <sup>2</sup>	円 1,356,300	3.12.24	4.3.1
柏町内 柏地	柏町地内農道舗装工事	農道舗装 388.7 m <sup>2</sup>	3,030,500	3.12.24	4.3.15
計	5件	—	10,058,400	—	—

### 3 農業用排水路整備事業

農業用排水路において、老朽化した排水路を改良することにより、排水機能の回復と環境整備を行った。

#### (1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
御菌町小林 地内	御菌町小林地内排水路整備 工事に伴う測量業務委託	測量業務一式	円 3,062,400	3.7.26	3.11.24
中須町内 地内ほか	中須町地内ほか排水路（菱 川）整備工事に伴う設計業 務委託	設計業務一式	4,900,500	3.7.26	4.1.6
計	2件	—	7,962,900	—	—

#### (2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
津村町内 津地	津村町地内排水路整備工事	張コンクリート 755 m <sup>2</sup>	円 15,728,900	3.10.29	4.3.15
有滝町内 有地	有滝町地内排水路整備工事	排水路整備 75.2m 張コンクリート 142 m <sup>2</sup>	6,320,600	3.11.19	4.3.15
黒瀬町内 黒地	黒瀬町地内排水路整備工事	排水路整備 336.2m	20,632,700	3.11.19	4.3.15
栗野町内 栗地	栗野町地内排水路整備工事	張コンクリート 81 m <sup>2</sup>	2,299,000	3.11.26	4.2.25
二見町溝口 地内	二見町溝口地内排水路整備 工事	排水路整備 31.1m	2,465,100	3.12.24	4.3.9
黒瀬町内 黒地	黒瀬町地内排水路（その2） 整備工事	排水路整備 137.3m	4,675,000	3.12.24	4.3.15
通町内 通地	通町地内排水路整備工事	排水路整備 102.0m	6,758,400	4.1.28	4.3.22
楠部町内 楠地	楠部町地内排水路修繕工事	排水路修繕 18.0m	324,500	4.2.14	4.3.7
計	8件	—	59,204,200	—	—

### 4 農村地域防災減災事業

農業用ため池について、地震や豪雨による災害の影響が大きい、ため池の防災工事実施に向け計画書の修正を行った。

また、災害に強い農村づくりを進めるため、県が実施する東池堤体等の改修工事に対して負担金を支出した。

## (1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
佐八町 地内	ため池（笹原池）整備実 施計画書修正業務委託	実施計画書修正 業務一式	円 1,717,100	3. 5. 20	4. 3. 15

## (2) 負担金

施行場所	事業内容	事業費 千円	市負担額 円
(注1) 黒瀬町 地内	東池改修工事	31,600	円 3,020,000 【負担額計】 3,160,000 [令和2年度] 140,000 [令和3年度] 3,020,000
(注2) 〃	〃	6,800	260,000 【負担額計】 680,000 [令和3年度] 260,000 [令和4年度] 420,000
(注3) 朝熊町 地内	朝熊川統合頭首工改修工事	35,000	0 【負担額計】 2,800,000 [令和3年度] 0 [令和4年度] 2,800,000
計	3件	73,400	3,280,000

※合計は、各行の最上段を合算

(注1) 令和2年度から一部繰越

(注2) 令和4年度へ一部繰越

(注3) 令和4年度へ繰越

## ○土地改良施設維持管理事業

## 1 排水機等補修事業

土地改良施設維持管理適正化事業により農業用排水機等の維持補修を行うことで施設の機能を保持し、流域への冠水による被害を防止した。

## (1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
一色町 地内	(注) 一色排水機場補修工事	防水改修工一式 庇・外壁工一式	円 5,036,900	3. 12. 3	4. 1. 31
二見町松 下地内	(注) 松下排水機場補修工事	防水改修工一式	3,161,400	3. 12. 3	4. 1. 31
計	2件	—	8,198,300	—	—

(注)維持課施行



## 2 樋門（農業用）維持管理

流域への湛水による被害を未然に防止するため、地元自治会等へ管理を委託することにより、樋門の機能を保持し、安全管理を図った。

### (1) 三重県県土整備部所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
東伊阿良	有 滝 町	有 滝 町 会	円 25,000
土路西条 4号	西 豊 浜 町	上 区 自 治 会	20,000
土路西条 5号	磯 町	磯 町 自 治 会	20,000
矢 田 川	楠 部 町	楠 部 町 自 治 会	27,000
津 村	津 村 町	津 村 町 自 治 会	20,000
宮 沼	〃	〃	27,000
名古新田	二見町三津	三 津 区	27,000
計	7樋門	—	166,000

### (2) 市所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
満 城	磯 町	磯 町 自 治 会	円 27,000
磯	〃	〃	18,000
相 合 端	〃	〃	20,000
堀 の 内	西 豊 浜 町	森 区 自 治 会	20,000
中 島	〃	小 川 区 農 事 部	20,000
郷 垣 外	〃	〃	20,000
中 坪 井	〃	〃	20,000
下 坪 井	東 豊 浜 町	東 豊 浜 町 西 条 自 治 会	20,000
浜	〃	〃	20,000
西 浦	〃	〃	20,000
一 本 松	檜 原 町	檜 原 町 会 自 治 会	20,000
枯 木 州	〃	〃	20,000
地 蔵 池	村 松 町	有 滝 町 会	20,000
南 挟 間	〃	〃	18,000
西 の 小 端 第一	〃	〃	18,000
西 曾	西 豊 浜 町	豊 浜 土 地 改 良 区	20,000
旧 汐 田	東 大 淀 町	東 大 淀 町 会	27,000
明 野	〃	〃	20,000
東 勘 坊	柏 町	柏 町 会	23,000
大 切 戸	一 色 町	一 色 町 自 治 会	27,000
戸 部 神	〃	〃	20,000
中 渠	楠 部 町	楠 部 町 自 治 会	27,000
小 畑	中 村 町	中 村 土 地 改 良 区	20,000
八 郎 兵 衛	鹿 海 町	鹿 海 町 自 治 会	27,000
西 新 田	〃	〃	20,000

西 沖	朝 熊 町	朝 熊 町 自 治 会	円 20,000
保 田	〃	〃	20,000
立 岩	〃	〃	18,000
貝 楠 部	〃	〃	18,000
亀 ケ 森	〃	〃	18,000
橘 第 二	〃	〃	18,000
橘	〃	〃	20,000
浜 田	〃	〃	20,000
子 良 江 古	〃	〃	20,000
雨 湊 川	上 野 町	上 野 町 自 治 会	20,000
西	二 見 町 西	西 区	20,000
計	36樋門	—	744,000

(3) 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
村 松 町 地 内	地蔵池樋門清掃業務委託	清掃業務一式	円 22,000	3. 6. 23	3. 6. 24

(4) 樋門小修繕等

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
東 豊 浜 町 地 内	西浦樋門修繕工事	樋門修繕一式	円 473,000	3. 10. 7	3. 11. 16
楠 部 町 地 内	中渠樋門照明灯修繕工事	照明灯修繕一式	12,100	3. 12. 3	3. 12. 13
村 松 町 地 内	地蔵池樋門修繕工事	樋門修繕一式	605,000	4. 2. 17	4. 3. 22
計	3 件	—	1,090,100	—	—

3 排水機維持管理経費

農業用だけでなく集落地域の雨水排水にも稼働している公共性の高い排水機場について、維持管理を土地改良区等へ委託又は補助することにより、農地及び集落の排水体制を維持した。

(1) 市所管排水機場操作業務委託

排水機場名	所 在 地	委 託 先	管理委託料
野口排水機場	東大淀町	東大淀土地改良区	円 50,000

(2) 土地改良区所管排水機場維持管理費補助

排水機場名	交 付 先	市補助額
村 松 排 水 機 場	村 松 土 地 改 良 区	円 963,286
有 滝 第 二 排 水 機 場	伊 勢 北 部 土 地 改 良 区	754,408
明 野 水 中 ポ ン プ	東 大 淀 土 地 改 良 区	69,963
豊 浜 第 二 排 水 機 場	豊 浜 土 地 改 良 区	27,923
社 護 神 排 水 機 場	有 滝 土 地 改 良 区	337,489
計	5 件	2,153,069

(3) 土地改良施設の維持管理

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
鹿海町 地内ほか	(注) 農業用排水機場ほか 管理技術指導及び緊急 対応業務委託	技術指導 一式 月次点検 一式 応急整備、簡易 整備 一式 年次点検 一式 緊急対応 一式	円 850,209 【契約額】 17,930,000 [湛水防除] 13,455,506 [排水路維持費] 3,624,285 [農林水産課] 850,209	3. 4. 1	4. 3. 31
東豊浜町 地内	東豊浜排水機場清掃 業務委託	清掃業務一式	99,000	3. 8. 19	3. 9. 7
計	2件	—	949,209	—	—

(注) 維持課へ執行委任

※合計は、各行の最上段を合算

(4) 負担金

基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業で実施される農業用排水機場の遊水池の浚渫工事等に対して負担金を支出した。

施行場所	事業内容	事業費	市負担額
(注) 通町 地内ほか	市内排水機場の遊水池の浚渫工事及びそれに伴う 業務委託	千円 125,000	円 231,000 【負担額計】 18,750,000 [令和3年度] 231,000 [令和4年度] 18,519,000

(注) 令和4年度へ一部繰越

4 排水機維持管理経費（機能更新）

農業用に整備された排水機場について、長寿命化計画に基づき補修・更新を実施した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
村松町 地内	亀池排水機場事業計画書 修正業務委託	事業計画書修正一式	円 2,420,000	3. 6. 17	3. 11. 30
鹿海町 地内ほか	排水機場運転支援システ ム導入調査業務委託	運転支援システム導入 調査一式	5,096,300	3. 7. 9	4. 3. 22
計	2件	—	7,516,300	—	—

(2) 負担金

県単排水施設整備事業で実施される農業用排水機場の保全工事等に対して負担金を支出する。

施行場所	事業内容	事業費	市負担額
通町 地内	(注) 新田排水機場保全工事及びそれに伴う業務委託	千円 150,000	円 22,500,000

(注) 令和4年度へ繰越

○ 林業関係

1 林道修繕経費

大雨等による林道破損や倒木で通行に支障をきたした箇所について、必要な工事を施し、林道の機能回復を図った。

(1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
横輪町 地内	馬坂林道堆積物撤去工事	堆積物撤去一式	円 99,000	3. 6. 2	3. 6. 16
朝熊町 地内	茅堂林道暗渠管土砂等撤去工事	管内土砂撤去等一式	99,000	3. 7. 26	3. 8. 3
矢持町 地内	古屋林道倒木及び堆積物撤去工事	倒木及び堆積物撤去一式	99,000	3. 9. 21	3. 9. 24
横輪町 地内	飛滝林道堆積物撤去工事	堆積物撤去一式	99,000	4. 1. 17	4. 1. 25
〃	馬坂林道堆積物撤去(その2)工事	〃	99,000	4. 1. 26	4. 2. 14
計	5件	—	495,000	—	—

2 環境保全林管理経費

市民の憩いの場である三郷山・音無山・絆の森・市所有の横輪環境保全林において、清掃、草刈り、枝打ち等を実施し、保全林の環境維持等に努めた。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
朝熊町 地内	絆の森管理業務委託	管理業務一式	円 300,000	3. 4. 1	4. 3. 15
二見町茶屋 地内ほか	音無山管理業務委託	〃	523,580	3. 4. 1	4. 3. 22
浦口町 地内ほか	三郷山清掃業務委託	清掃・パトロール業務一式	400,000	3. 4. 1	4. 3. 23
横輪町 地内	横輪環境保全林管理業務委託	〃	900,000	3. 4. 1	4. 3. 24
岩淵1丁目 地内	市町版三重県森林資源情報管理システム運用業務委託	システム運用サービス一式	277,200	3. 4. 1	4. 3. 31

二見町茶屋 地内	音無山倒木駆除業務委託	倒木駆除一式	円 99,000	3. 4. 8	3. 4. 20
〃	音無山倒木駆除（その2）業 務委託	〃	77,000	3. 4. 23	3. 4. 26
浦口町 地内ほか	三郷山草刈等（その1）業 務委託	草刈りほか 2.45ha	876,000	3. 5. 17	3. 7. 7
二見町茶屋 地内ほか	音無山蜂営巣調査業務委託	蜂営巣調査 4回	79,200	3. 7. 1	3.10.25
浦口町 地内ほか	三郷山給水施設衛生管理業 務委託	清掃・点検一 式	33,000	3. 7. 19	3. 9. 6
二見町西 地内ほか	二見保安林下刈業務委託	下刈り 1.86ha	1,184,700	3. 7. 21	3. 9. 28
二見町茶屋 地内ほか	音無山施設管理業務委託	草刈りほか 2.14ha	770,000	3. 8. 2	3.10. 4
二見町茶屋 地内	音無山枝払い業務委託	枝払い一式	88,000	3. 8. 3	3. 8. 12
〃	音無山ミツバチ駆除業務委 託	ミツバチ駆徐 一式	16,500	3. 8. 3	3. 8. 31
浦口町 地内ほか	三郷山草刈等（その2）業 務委託	草刈り 1.97ha	572,000	3.10.11	3.12.17
村松町 地内	村松松林下刈業務委託	下刈り 1.3ha	260,000	3.10.12	3.11.30
横輪町 地内	横輪環境保全林間伐業務委 託	間伐 1.0ha	565,400	3.11.17	4. 2. 14
浦口町 地内	三郷山間伐整備業務委託	間伐 0.9ha	488,400	3.11.17	4. 2. 14
横輪町 地内	横輪環境保全林用地測量業 務委託	用地測量 0.7ha	2,655,400	3.12. 3	4. 3. 1
二見町茶屋 地内	音無山危険木伐採業務委託	危険木伐採一 式	88,000	3.12. 8	3.12.20
計	20件	—	10,253,380	—	—

（2）工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
朝熊町 地内	絆の森ウッドデッキ修繕工 事	ウッドデッキ 修繕一式	円 99,000	3. 6. 18	3. 8. 20
浦口町 地内	三郷山高架水槽修繕工事	高架水槽修繕 一式	77,000	3. 9. 15	3.10.20
二見町江 地内	音無山照明灯修繕工事	照明灯修繕一 式	34,100	3.12. 9	3.12.20
二見町茶屋 地内	音無山登山口施錠修繕工事	施錠修繕一式	31,900	4. 3. 10	4. 3. 25
計	4件	—	242,000	—	—

3 環境保全林整備事業（自然環境整備交付金）

音無山のトイレ洋式化の整備を行い、利用環境の向上を図った。

(1) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
二見町茶屋内 地	(注) 音無山中腹トイレ 改修工事	トイレ改修一式	円 1,595,000	3.10.22	3.12.3

(注) 営繕課施行

4 獣害防止事業

(1) 委託関係

有害動物（イノシシ・シカ・サル・アライグマ・ハクビシン）による農作物被害軽減のため、伊勢地区猟友会へ捕獲の委託を行った。

委 託 名	委 託 先	金 額	着 手	完 了
獣害防止事業業務委託	伊勢地区猟友会	(注) 円 5,546,000	3.4.1	4.3.31

(注) 金額 5,546,000 円のうち 2,954,000 円は伊勢市鳥獣被害防止対策協議会が支出

(2) 伊勢市鳥獣被害防止対策協議会

増加傾向にある有害鳥獣による農作物等被害防止を目的に設立した伊勢市鳥獣被害防止対策協議会において、関係機関と一体となって各種事業に取り組んだ。

事 業 名	金 額	概 要
協議会一般事業	円 409,427	サル発信機装着委託費、消耗品等
鳥獣被害防止総合対策推進交付事業	1,380,500	大型獣わな 5 基、サル用わな 5 基、ニホンザル用大量捕獲檻 1 基
鳥獣被害防止総合対策整備交付事業	393,448	WM 柵（藤里町 120m）電気柵（藤里町 471m）
鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業	2,954,000	獣害防止事業捕獲委託費
ニホンザル等対策支援事業	1,176,560	駆逐用煙火 2,800 本
地域捕獲力強化促進事業	134,250	捕獲檻用エサ、大型捕獲檻通信費
わな猟免許取得費等補助事業	24,000	わな猟免許取得費等補助金
計	6,472,185	—

事業費の財源内訳 県（国）： 4,370,811 円

市： 2,101,374 円

5 鳥獣保護法関連事業

(1) 有害鳥獣捕獲許可

農林作物等に被害を与える有害鳥獣を駆除するため、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する

る法律の規定に基づき、捕獲許可事務を行った。

許可件数	延べ人員	総捕獲数
件 105	人 374	イノシシ 304、シカ 418、サル 26、イタチ 18、タヌキ 11、アナグマ 3、アライグマ 20、ハクビシン 44、カラス 39

(2) 鳥獣飼養許可

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、メジロの飼養許可事務を適正に実施した。

交付件数 1 件  
手数料 3,400 円 (@3,400 円×1 件)

6 みえ森と緑の県民税市町交付金事業

みえ森と緑の県民税交付金を活用した施策として、暮らしに身近な森林づくり・森を育む人づくりとして年次計画のもとに森林整備を図った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町西地内ほか	松くい虫防除（地上散布）業務委託	地上散布 6.05ha	円 619,300	3. 5. 26	3. 7. 28
〃	松くい虫防除（伐倒破砕）業務委託	枯松伐倒破砕一式	743,600	3. 12. 22	4. 3. 25
東大淀町地内ほか	松くい虫防除（樹幹注入）業務委託	薬剤樹幹注入一式	3,578,300	3. 12. 22	4. 3. 25
二見町今一色地内	二見町今一色地内松林間伐整備業務委託	間伐業務一式	2,324,300	3. 12. 22	4. 3. 25
計	4 件	—	7,265,500	—	—

7 森林経営管理事業

森林所有者の経営意欲の低下や所有者不明の森林の増加等が懸念される中で、森林資源の適切な管理を推進するための調査を行った。また県産材を活用した公共施設の木造化を図った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
上野町地内ほか	森林経営管理意向調査業務委託	意向調査 107.7ha	円 6,831,000	3. 10. 6	4. 3. 15
浦口町地内ほか	森林調査（境界明確化）業務委託	森林調査業務 20.7ha	3,439,700	3. 10. 20	4. 3. 15
計	2 件	—	10,270,700	—	—

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東大淀町地内	大淀漁港海岸東屋整備工事	東屋 一棟	円 6,350,300	3. 12. 24	4. 3. 15

## ○ 水産業一般事業

### 1 伊勢市二見健康管理増進センター維持管理

#### (1) 施設管理

漁村環境整備事業で整備した伊勢市二見健康管理増進センターについて、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民の生活及び健康管理の向上と明るく豊かな地域づくりの増進を図った。

- ・施設名 伊勢市二見健康管理増進センター
- ・指定管理者 二見町松下区
- ・令和3年度指定管理委託期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日
- ・指定管理委託料 184,140円

#### (2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町松下区 地内	二見健康管理増進センター 一修繕工事	建物修繕一式	円 407,000	3. 5. 27	3. 6. 23
〃	(注) 二見健康管理増進センター 一軒先ほか修繕工事	軒先ほか修繕一式	1,525,700	4. 1. 28	4. 3. 28
計	2件	—	1,932,700	—	—

(注) 営繕課施行

## ○ 水産振興関係

### 1 漁業の実態

市内には海面の漁協として、伊勢市から明和町を範囲とする伊勢湾漁業協同組合があり、内水面には宮川漁業協同組合がある。

伊勢市の海面漁業形態は、主に採貝漁業、のり養殖業、小型機船底びき網漁業であり、その他には刺網漁業等が営まれている。

組合員数は次のとおりで、生産状況は貝類が117t、魚類等が29t、くろのりは1,024万枚となっている。

#### (1) 組合員数

区分	漁協名	令和3年度			令和2年度			
		正組合員	准組合員	計	正組合員	准組合員	計	
海面	伊勢湾漁業協同組合 (伊勢市管内分)	東大淀	人 0	人 37	人 37	人 0	人 44	人 44
		村松	4	41	45	4	46	50
		有滝	3	49	52	4	59	63
		東豊浜	2	88	90	4	92	96
		大湊	0	20	20	0	22	22
		一色	0	30	30	0	33	33
		神社	0	6	6	0	7	7
		今一色	37	21	58	39	23	62
		江	3	6	9	3	6	9
		松下	5	39	44	5	43	48
	合計	54	337	391	59	375	434	
内水面	宮川漁協	641	578	1,219	638	643	1,281	
	内伊勢市管内	160	90	250	155	113	268	

(各年度伊勢湾漁業協同組合は3月31日、宮川漁業協同組合は12月31日現在)



## (2) 漁業生産状況

種 類	令和3年度	令和2年度
魚 類 等	kg 29,308	kg 38,279
水産動物類	7,962	13,290
ア サ リ	2,269	3,138
ハ マ グ リ	41,885	74,962
バ カ ガ イ	5,430	77,258
その他の貝類	67,498	70,115
あ お の り	7,692	6,614
く ろ の り	千枚 10,237	千枚 16,004

(各年度3月31日現在)

## (3) 漁船数

地 区 名	令和3年度					令和2年度				
	3 t 未満	3 t 以上 5 t 未満	5 t 以上 10 t 未満	10 t 以上	計	3 t 未満	3 t 以上 5 t 未満	5 t 以上 10 t 未満	10 t 以上	計
東大淀	隻 10	隻 0	隻 0	隻 0	隻 10	隻 13	隻 0	隻 0	隻 0	隻 13
村 松	11	3	1	0	15	13	3	1	0	17
有 滝	17	0	7	0	24	20	0	7	0	27
東豊浜	30	1	2	0	33	33	2	2	0	37
大 湊	17	0	0	0	17	17	1	0	0	18
一 色	1	1	1	0	3	1	1	1	0	3
神 社	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1
今一色	106	5	2	1	114	116	6	2	1	125
江	12	0	0	0	12	12	0	0	0	12
松 下	20	0	0	0	20	22	0	0	0	22
計	225	10	13	1	249	248	13	13	1	275

(各年度3月31日現在)

## (4) 漁業就業者の年齢構成

区 分	令和3年度			令和2年度		
	男	女	計	男	女	計
20歳未満	人 0	人 0	人 0	人 0	人 0	人 0
20～30歳未満	1	0	1	0	0	0
30～40歳未満	2	0	2	2	0	2
40～50歳未満	2	0	2	3	0	3
50～60歳未満	14	5	19	14	5	19
60～70歳未満	18	13	31	18	12	30
70歳以上	56	15	71	64	19	83
計	93	33	126	101	36	137
平均年齢	70.4	69.2	70.0	70.1	69.1	69.8

(各年度3月31日現在)

## 2 水産振興事業

### (1) 各種補助金事業

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助額	成果
稚貝養殖振興事業	伊勢湾漁業協同組合	二見町今一色地先にハマグリ種苗を放流 ハマグリ 2.5 t	円 3,117,378	円 900,000	ハマグリ資源の増大と漁家経営の安定、二枚貝の水質浄化作用による環境保全に寄与した。
種苗(クルマエビ等)育成事業	〃	各種苗を松阪市東黒部町地先～二見町地先に放流 クルマエビ 500 千尾 ヒラメ 5,000 匹	760,000	182,000	クルマエビ(中間育成後)、ヒラメの種苗を放流し、資源の増大と漁家経営の安定に寄与した。
稚鮎等放流事業	宮川漁業協同組合	(放流事業) アユ 2,000 kg ウナギ 20 kg アマゴ 70 kg 各種苗	7,302,400	458,323	宮川流域のアユ・ウナギ・アマゴの資源増大と生産の向上に寄与した。
計	3 件	—	11,179,778	1,540,323	—

### (2) 水産教室実施事業

まん延防止等重点措置を受け、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

### (3) 漁業近代化資金利子補給補助金

東日本大震災で甚大な被害を受けた漁業者の漁業近代化資金災害資金借りに生じる利子を補給し、負担を軽減することにより、漁業経営の再生を支援した。

資金名	件数	借入残高	利子補給額	備考
漁業近代化資金(災害資金)	件 6	円 617,534	円 4,631	年 0.75%の利子を補給

### (4) 干潟保全活動支援事業

水産資源の保護・培養のほか、水質浄化等の役割を持つ干潟は、公益的機能を持つ重要な資源であるが、近年、海洋環境の悪化等により機能が低下しているため、地区漁業者が中心となる活動組織が干潟等保全活動を行い、干潟等機能の回復と漁場環境の改善に努めた。

実施主体	実施場所	内容	市負担額	備考
村松浅場保全会	村松町地先浅場	稚貝等の沈着促進、機能発揮のための生物移植、母藻の設置、モニタリング	円 24,735 (注)(164,893)	R3年度で休止

(注) 補助対象事業費(国 70%、県 15%、市町 15%)

### (5) 栽培漁業の指導・推進

伊勢湾漁業協同組合が取り組むクルマエビ、ヒラメの種苗放流について、放流適地・放流方法について指導した。

なお、平成 17 年度に完成した伊勢湾南部中間育成施設(県営)でのクルマエビの中間育成が実施され、放流サイズが大きくなり、生残率も向上している。

## (6) アサリ勉強会

伊勢市の漁業の中心であったアサリ採貝漁業は、昭和 60 年頃をピークに経営体数、漁獲量とともに減少の一途をたどっており、その状況を打開するために、漁協・漁業者と協働で、平成 21 年 2 月に発足した「アサリ勉強会」や、漁連・漁協・漁業者・県等と連携する中で、平成 22 年 3 月に発足した「三重県あさり協議会」を通じて、資源確保や生産力向上のため、問題・課題の把握からその解決策の検討・実施に向けて取り組んでいる。

また、平成 27 年から平成 29 年にかけて開催された伊勢湾再生を考える三重沿岸の勉強会では、調査、シミュレーションにより伊勢湾奥部が親貝の生息域、三重県南部が稚貝の生息域であること確認しており、①鈴鹿地先、②宮川河口沖、③四日市港沖へ干潟造成することが望ましいと結論づけられた。

令和元年 10 月 1 日及び令和 2 年 9 月 23 日には、伊勢湾内のアサリ資源回収に向けた積極的な支援を国へ働きかけていただくよう三重県漁港漁場協会へ要望したところ、同協会により令和元年 11 月 14 日・15 日、令和 2 年 10 月 21 日に水産庁へ要望活動が行われた。

このような状況下、近年の大雨により頻発する河川洪水に加え、貧酸素水塊の発生、アサリを弱らせる寄生虫の発生があり、いずれの漁場でも回復に至っていない状況であり、上記事業の実施はおろか、放流に適した稚貝を確保することも困難になっている。

三重県沿岸では海象の変化に強く、寄生虫の付きにくいハマグリの水揚げにシフトする漁業者が多くなっており、伊勢市管内でも、今一色地区の漁業者を中心にハマグリ稚貝の放流に取り組まれ、一定の水揚を確保している。

このことから、市としては、現在、ハマグリ放流に対し、補助を行っている。

## ○ 漁港管理関係

### 1 漁港の施設

漁 港 名	種 別	外郭施設		係留施設	
		3 年度末 現在	2 年度末 現在	3 年度末 現在	2 年度末 現在
(注)		m	m	m	m
大 淀	第 1 種	342	342	424	424
村 松	〃	1,403	1,403	487	487
江	〃	1,564	1,564	261	261
松 下	〃	503	503	101	101
豊 北	第 2 種	5,868	5,868	1,825	1,825
計	—	9,680	9,680	3,098	3,098

(注) 大淀漁港の管理者は明和町(昭和 53 年 3 月 31 日締結の協定により、伊勢市は大堀川右岸の事業に要する費用を負担し、両漁業者が共通して利用する水域施設の事業については、協議により負担割合を決定することとなっている。)

表中の施設延長は、伊勢市負担分。

## 2 漁港区域内樋門管理経費

### (1) 樋門

#### ア 三重県県土整備部所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
江川	有滝町	有滝町会	円 34,000
社護神	〃	〃	18,000
計	2樋門	—	52,000

#### イ 市所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
西条第一	東豊浜町	東豊浜町西条自治会	円 27,000
浦ノ山	〃	土路区町会	18,000
墓ノ浦	〃	〃	27,000
里浦	〃	〃	18,000
イナ川	有滝町	有滝町会	18,000
亀池	村松町	村松町会	28,000
計	6樋門	—	136,000

### (2) 陸こう門

異常気象等による洪水防止のため、漁港区域及び海岸保全区域内に存在する陸こうの維持管理及び操作を次のとおり委託した。

#### ア 市所管陸こう門操作業務委託

陸こう名	所在地	委託先	委託料
西条第1～6陸こう門	東豊浜町	東豊浜町西条自治会	円 34,020
村松第1～8陸こう門	村松町	村松町会	45,360
有滝第1～6陸こう門	有滝町	有滝町会	34,020
土路第1～5陸こう門	東豊浜町	土路区町会	28,350
東大淀第1・2陸こう門	東大淀町	東大淀町会	11,340
計	5件	—	153,090

### (3) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
村松町 地内	亀池樋門清掃業務委託	清掃業務一式	円 22,000	3. 8. 2	3. 8. 5

## 3 漁港・海岸維持管理事業

伊勢市が管理する施設の修繕及び点検業務を行った。

## (1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
有滝町 地内ほか	伊勢市漁港海岸環境 整備業務委託	漂着物除去一式	円 189,200	3. 8. 23	4. 2. 9
東豊浜町 地内	豊北漁港標識灯保守 点検業務委託	標識灯点検 3基	99,000	3.10.15	3.11.16
有滝町 地内ほか	豊北漁港管理道路清 掃業務委託	清掃業務一式	99,000	4. 2. 25	4. 3. 22
計	3件	—	387,200	—	—

## (2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東大淀町 地内	大淀漁港照明灯修繕 工事	照明灯修繕一式	円 44,000	3.10. 6	3.10.15
有滝町 地内	豊北漁港有滝照明灯 修繕工事	〃	93,500	3.10.22	3.10.29
東豊浜町 地内ほか	豊北漁港第2堤防ほ か修繕工事	堤防修繕 11.7m 階段修繕 1か所	3,169,100	3.11. 5	4. 2. 17
有滝町 地内	豊北漁港道路修繕工 事	道路修繕一式	286,000	3.12. 6	4. 1. 4
東豊浜町 地内	豊北漁港輸送施設舗 装修繕工事	舗装修繕一式	478,500	3.12.24	4. 2. 9
〃	豊北漁港土路照明灯 ほか修繕工事	照明灯修繕一式	78,100	4. 1. 21	4. 1. 28
計	6件	—	4,149,200	—	—

## 4 水産物供給基盤機能保全事業

漁港施設の老朽化が著しいことから、機能保全計画に基づき効率的・効果的な施設の長寿命化を行った。

## (1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
東豊浜町 地内	豊北漁港土路用地護 岸ほか測量業務委託	測量業務一式	円 564,300	3. 6. 28	3. 8. 26
〃	豊北漁港土路用地護 岸ほか設計業務委託	設計業務一式	6,881,600	3. 8. 27	4. 2. 28
村松町 地内	村松漁港第2物揚場 測量業務委託	測量業務一式	841,500	4. 2. 18	4. 3. 22
計	3件	—	8,287,400	—	—

(2) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
二見町松下地内	(注1) 松下漁港南護岸ほか 保全工事	コンクリート被覆 76.1m	円 21,330,100 【契約額】 32,770,100 [令和2年度] 11,440,000 [令和3年度] 21,330,100	3. 2. 5	3. 9. 17
東大淀町先地	(注1) 大淀漁港南防波堤 保全工事	防波堤改修 51.0m	35,819,800 【契約額】 55,679,800 [令和2年度] 19,860,000 [令和3年度] 35,819,800	3. 2. 12	3. 6. 14
〃	(注2) 〃	防波堤改修 30.0m	19,800,000 【契約額】 55,673,200 [令和3年度] 19,800,000 [令和4年度] 35,873,200	3. 12. 24	4. 7. 21
計	3件	—	76,949,900	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

(注1) 令和2年度から一部繰越

(注2) 令和4年度へ一部繰越

○ 三重とこわか国体おもてなし事業

三重とこわか国体おもてなし事業

「三重とこわか国体」において、全国から伊勢市に集う競技選手優勝者に対し副賞を提供することで、地域の農林水産物等のPRを図る予定をしていた。しかし令和3年8月26日の「三重とこわか国体」の中止決定を受け、陸上競技の国体代替大会である2021年東海フレンドシップゲームにおいて、みえ森と緑の県民税交付金を活用して製作した木製盾を、記念品として贈呈することで、地域の林産物のPRを図った。

(1) 物品購入関係

納品場所	物 品 名	概 要	金 額	着 手	完 了
産業観光部 農林水産課	三重県産材木製盾	木製盾 200枚	円 616,000	3. 7. 29	3. 9. 24

## ○ 他課関係依頼

他課から依頼があった次の業務について、その設計及び監督を行った。

所 属	施 行 場 所	工 事 名	工 事 概 要	金 額
教育総務課	二俣 4 丁目 地 内	伊勢宮川中学校テニスコ ート付近雨水対策工事設 計業務委託	設計業務一式	円 7,902,400
〃	〃	(注) 伊勢宮川中学校テニスコ ート付近雨水対策工事	水路 394m 暗渠排水管 372m 集水柵 13か所 透水性舗装 542㎡ テニスコート整備 一式	14,660,000  【契約額】 36,666,300 [令和3年度] 14,660,000 [令和4年度] 22,006,300
文化政策課	中島 1 丁目 地 内 ほか	史跡等案内板石標柱設置 工事	案内板 3 基 石標柱 1 基	2,915,000
スポーツ課	小俣町新村 地 内 ほか	大仏山公園スポーツセン ター外周路等整備工事	カラー舗装 1,840 ㎡ 健康遊具設置 4 基 案内板設置 1 基	27,573,700
計	4 件	—	—	53,051,100

※合計は、各行の最上段を合算

(注) 令和4年度へ一部繰越

# 観 光 振 興 課

## ○ もてなし心醸成事業

### 1 バリアフリー観光向上事業

全国的に高齢化が進み人口が減少していく中、高齢者や身体の不自由な方なども含む誰もが観光旅行を楽しむことができる体制を整え、観光客数を増加させることを目的に、平成23年度から受入環境向上のための取組を行っている。

#### (1) 伊勢おもてなしヘルパー事業

高齢者や身体の不自由な方が内宮を安心して訪れることができる環境を整えるため、平成27年5月に関係団体（注）で「伊勢おもてなしヘルパー推進会議」を設立し、平成29年2月にサービス（伊勢神宮内宮での車椅子利用者の参拝サポート）の提供を開始した。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止と感染予防のため、「伊勢おもてなしヘルパー」のサービス提供は一部期間を除き休止したが、パンフレット改定、情報発信、視察対応等を行った。

（注）関係団体：（公社）伊勢市観光協会、伊勢商工会議所、皇學館大学、伊勢おほらい町会議、特定非営利活動法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター、伊勢市（順不同）

#### (2) バリアフリー観光情報発信事業

##### ア ウェブサイト事業

外宮参道・おほらい町・おかげ横丁の3地域において、施設の変更内容を現地調査するとともに、地域内店舗からのバリアフリー相談に対してアドバイスを行った。

また、現地調査の結果を基に、身体の不自由な方が伊勢の観光を楽しめるよう、個々の身体状況に合わせて「バリアフリーマイマップ」の作成ができる機能などを備えたウェブサイト（平成26年度作成）の情報更新を行った。

調査回数：外宮参道4回・おほらい町5回・おかげ横丁2回

##### イ 内宮周辺民間駐車場調査及びマップデータ作成

内宮周辺の民間駐車場のバリアフリー対応に係る実態を現地調査し、駐車場の位置が確認できるマップデータを作成した。

調査回数：5回

### 2 観光人材育成事業

#### (1) 案内ガイド連携事業

案内人の質の向上、情報共有及び一体感の醸成を目的とした市内観光案内ガイド団体の連絡協議会「伊勢たびナビの会」に参画し、事務局を担った。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から活動を一部休止したが、10



月には各団体の活動状況の情報収集・意見交換を目的に会議を実施し、市が主催するバリアフリー観光研修にも参加した。

## (2) 伊勢っ子育て事業

観光客とのふれあいを通じ、子どもたちに伊勢の魅力を知ってもらうことを目的に、平成27年度に開始した。令和3年度は、公募により集まった市内小学校5、6年生の伊勢っ子8人が、せんぐう館等で「伊勢を学ぶ活動」を行ったほか、外宮参道に設置の行灯の装飾に関する活動に参加した。

また、東京2020パラリンピック開催に向けて開催される聖火フェスティバルへの参加者を伊勢っ子から募り、一部児童が参加した。

開催日	内容	会場	参加者数
3. 7. 17	オリエンテーション 外宮参道行灯に掲載する応援 動画撮影	伊勢商工会議所5階 大ホール	人 8
3. 8. 5	せんぐう館見学 外宮参道行灯に掲載した応援 動画視聴	シンフォニアテクノロジー響ホ ール伊勢（伊勢市観光文化会 館）4階 大会議室1	7
3. 8. 13	東京2020パラリンピック聖 火フェスティバル(採火式)	三重交通Gスポーツの杜 伊 勢(三重県営総合競技場) 陸上 競技場	5
3. 12. 11	神宮徴古館見学 修了式	神宮徴古館	7

## (3) 観光振興研修事業

観光関連事業者を対象に、バリアフリー観光をテーマにした研修会等を開催した。

開催日	内容	会場	参加者数
3. 12. 15	バリアフリー観光	シンフォニアテクノロジー響ホ ール伊勢（伊勢市観光文化会 館）4階 大会議室1	人 昼の部：19 夜の部：21
4. 2. 22	地域の観光人材のインバウン ド対応能力強化研修	伊勢商工会議所4階 中ホール	14

## 3 外国人観光客受入強化事業

### (1) 観光案内所の受入体制強化

平成28年度に市内5か所全ての観光案内所が外国人観光案内所(注)に認定されていることから、英語対応可能な案内所常駐職員を配置するなど、外国人観光客の受入体制強化を行っている。令和3年度は、伊勢市駅観光案内所、宇治山田駅観光案内所、外宮前観光案内所の外国人観光案内所の認定更新を行った。

<外国人観光案内所認定状況>

カテゴリー2：伊勢市駅、宇治山田駅、宇治浦田、外宮前観光案内所

カテゴリー1：二見浦観光案内所

(注) 外国人観光案内所：J N T O（日本政府観光局）認定の外国人対応可能な観光案内所。カテゴリ2は英語対応可能なスタッフが常駐し、広域の案内を提供できることが条件。カテゴリ1は常駐でなくても何らかの方法で英語対応可能で、地域の案内を提供できることが条件。三重県下でカテゴリ2以上の認定を受けている施設は、当市の認定4施設、鳥羽市観光案内所及び志摩市観光案内所のみである。

(2) 外国人観光客実態調査の実施

伊勢を訪れた外国人観光客の実態を把握するため、市内観光案内所及び宿泊施設で留置法によるアンケート調査を実施した。また、アンケートをウェブ上でも回答できる環境を整備するため（公社）伊勢市観光協会が運営するウェブサイト内に回答ページを作成した。

調査実施期間：令和3年4月～令和3年12月

(注) 令和3年1月～3月は三重県の緊急警戒宣言等の発出を受けて調査を実施せず

調査地点：観光案内所、市内宿泊施設

サンプル数：30件（内、インターネット回答9件）

言語：英語、フランス語、中国語簡体字、同繁体字、韓国語

(3) 日英併記案内整備工事

国内外から多数の観光客が来訪する五十鈴川駅と内宮を結ぶエリアにおいて、観光客のまち歩きの実便性を向上させることを目的に各観光スポットや駅に至るルート及び周辺の観光情報を分かりやすく表示するため、案内サインの整備を行った。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
楠部町地内 ほか	(注) 多言語案内サイン 整備工事	案内サイン整備 10か所	円 3,776,300	3. 8. 27	4. 2. 1

(注) 都市計画課施行

○ 観光一般事業

1 案内所管理運営経費

(1) 観光案内所及び伊勢市駅手荷物預かり所の運営

伊勢市駅、宇治山田駅、宇治浦田、二見浦、外宮前の各観光案内所及び伊勢市駅手荷物預かり所における運営管理業務を、（公社）伊勢市観光協会に委託して実施した。新型コロナウイルス感染症の対応のため三重県に緊急事態宣言が発出されたこと等により8月27日から9月30日までの35日間、案内所等の窓口を閉鎖した。

委託期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

委託金額：38,008,565円（うち 案内所管理運営経費 26,156,710円  
外国人観光客受入強化事業 9,968,885円）

ア 観光案内所の利用状況（単位：件）

伊勢市駅観光案内所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	1,715	1,232	1,230	2,166	1,583	0	2,893	4,171	4,492	3,245	1,817	4,503	29,047
うち外国人	17	21	5	7	11	0	13	18	13	3	14	12	134

宇治山田駅観光案内所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	321	232	290	440	285	0	606	901	1,052	612	323	770	5,832
うち外国人	3	5	1	0	2	0	0	4	0	0	1	2	18

宇治浦田観光案内所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	609	607	351	962	739	0	1,247	1,517	1,388	1,240	755	1,032	10,447
うち外国人	3	2	0	6	0	0	1	1	0	0	0	1	14

二見浦観光案内所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	499	528	450	810	638	0	899	1,139	1,109	1,120	592	1,176	8,960
うち外国人	8	12	3	0	4	0	4	0	3	4	0	3	41

外宮前観光案内所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	1,559	1,064	1,116	1,782	1,258	0	2,885	4,519	3,869	3,132	1,970	3,615	26,769
うち外国人	13	4	7	0	3	0	6	5	4	6	7	16	71

イ 伊勢市駅手荷物預かり所の取扱い個数（単位：個）>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
荷物預かり	208	162	243	832	571	0	739	2,216	1,856	1,099	467	1,938	10,331
宿泊施設配送	152	92	108	268	201	0	311	736	528	348	209	603	3,556
計	360	254	351	1,100	772	0	1,050	2,952	2,384	1,447	676	2,541	13,887

(2) 清掃業務

観光案内所の衛生環境を保つため、年2回の定期清掃及びトイレと喫煙所の日次清掃を行った。

委託期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

委託金額：2,541,550円

定期清掃か所：市内観光案内所4か所、伊勢市駅手荷物預かり所

日次清掃か所：トイレ 宇治浦田観光案内所、伊勢市駅手荷物預かり所

喫煙所 宇治浦田街路広場、宇治山田駅前広場

(3) 車いすの貸し出し

高齢者や身体の不自由な観光客が安心して市内観光できるよう、伊勢市駅観光案内所と宇治浦田観光案内所で、車いすの無料貸し出しを行った。

ア 車いすの貸し出し状況（単位：台）

	伊勢市駅	宇治浦田
保有台数	3	7
貸出合計台数	62	420

(4) ベビーカーの貸し出し

乳幼児連れの観光客が手軽に市内観光を楽しめるよう、市内各観光案内所で、ベビーカーの無料貸し出しを行った。

ア ベビーカーの貸し出し状況（単位：台）

	伊勢市駅	宇治山田駅	宇治浦田	二見浦	外宮前
保有台数	1	1	2	1	1
貸出合計台数	10	1	59	0	2

(5) レンタサイクル事業

市内周遊を促進するため、(公社)伊勢市観光協会が実施するレンタサイクル事業を宇治山田駅観光案内所、外宮前観光案内所、伊勢市駅手荷物預かり所及び五十鈴川駅前で行った。

ア レンタサイクルの利用状況（単位：台）

	宇治山田駅	外宮前	手荷物預かり所	五十鈴川駅前
保有台数	3	13	25	12
貸出合計台数	87	808	1,720	197

(6) 施設等維持管理

ア 工事関係

伊勢市駅手荷物預かり所の物入鍵及び階段手摺及び宇治浦田観光案内所の自動ドアと雨戸に破損が生じたため、修繕工事を行った。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
吹上1丁目内 地	伊勢市駅手荷物預かり所 物入鍵及び階段手摺修繕工事	物入鍵及び階段手摺の修繕一式	円 82,500	3. 4. 19	3. 4. 28
宇治浦田1丁目内 地	宇治浦田観光案内所 自動ドアスイッチ取替修繕	電源スイッチの修繕一式	44,000	3. 5. 31	3. 5. 31
”	宇治浦田観光案内所 雨戸取替	雨戸取替一式	40,216	4. 3. 7	4. 3. 31
計	3件	—	166,716	—	—

イ 委託関係

宇治山田駅観光案内所の空調設備が経年劣化により故障したため、室内機の取替え委託

を実施した。

委託期間：令和3年10月1日～令和3年11月29日

委託金額：334,400円

## 2 観光協会負担金

(公社)伊勢市観光協会は同業者組合の枠を超え、広く市内観光産業活性化のために活動している。また、公益社団法人という位置付けから、公平性を保ちつつ行政よりも柔軟な動きが可能であり、変化の激しい観光分野の事業実施に不可欠な存在となっている。このため、平成31年4月1日に(公社)伊勢市観光協会との覚書を改定した。覚書の内容は、財政基盤安定化を目的とした事務局人件費の一部負担(負担率35%)、市との協働事業の事務費負担(過去の経過と自主性を考慮して決定した負担率)等となっている。令和3年度は、この覚書の内容に基づき負担した。この覚書は令和3年度までを対象期間としているため、令和4年度以降の市と観光協会の関係及び負担のあり方について協議を進めた。

## 3 広域連携事業

### (1) 伊勢志摩国立公園の振興

(一財)伊勢志摩国立公園協会、伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会、伊勢志摩国立公園地域協議会、及び国立公園関係都市協議会に参画し、広域での連携を強化した。

### (2) 伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム2025

平成28年7月に伊勢志摩国立公園を含む全国8か所の国立公園が、環境省の「国立公園満喫プロジェクト」における先導的モデルに選ばれ、世界水準の「ナショナルパーク化」を目指すこととなった。これに伴い、平成28年12月に環境省、三重県等とともに「伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム2020」を策定した。令和3年度からは「伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム2025」として改訂し、他課とも連携して伊勢志摩国立公園管内の景観・環境等の整備を進めている。

また、エコツーリズムを核とした地域づくりを目的として、平成30年2月27日に設立された伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会に、設立準備段階から参画し、下部組織として設けられた4つの部会(マーケティング・事業・SDGs・人材育成)においても、マーケティング及び事業の2部会に参画するなど、広域連携の取組を進めている。

## ○ 観光振興基本計画推進事業

### 1 観光振興基本計画推進事業

#### (1) 伊勢市観光振興基本計画に基づく取組の検証及び新計画の策定

令和4年度から令和7年度を計画期間とする新しい観光振興基本計画を策定した。

委託期間：令和3年7月30日～令和4年3月31日

委託金額：7,997,000円

また、観光振興基本計画推進委員会にて令和3年度の取り組みの検証等を行った。

日程	会議名等	主な内容
3. 8. 4	伊勢市観光振興基本計画 推進委員会 令和3年度第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行計画検証結果及び新計画策定に向けた現状報告</li> <li>・策定にむけた方向性</li> <li>・策定の進め方・スケジュールについて</li> </ul>
3.10. 8	第1回ワーキンググループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「持続可能な観光地づくり」講師講演 講師：和歌山大学観光学部 教授 加藤久美 氏</li> <li>・「観光危機管理」講師講演 講師：株式会社サンダーバード 代表取締役 翁長由佳 氏</li> <li>・参加者からの意見聞き取り</li> </ul>
3.10.20	第2回ワーキンググループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光分野における新しいテーマについての意見交換</li> </ul>
3.10.26 3.10.27	個別ヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢市の観光に携わる方や事業者への、個別聞き取り調査の実施</li> </ul>
3.11.22	伊勢市観光振興基本計画 推進委員会 令和3年度第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・策定スケジュール変更について</li> <li>・現状及びワーキンググループ・個別ヒアリングの開催・実施報告</li> <li>・素案についての意見交換</li> </ul>
3.12. 1 3.12. 2	個別ヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢市の観光に携わる方や事業者への、個別聞き取り調査の実施</li> </ul>
3.12. 9～ 3.12.15	クリエイターズ・ワーケーション促進 事業参加者へのヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢市クリエイターズ・ワーケーション促進事業に参加したクリエイターへの個別聞き取り調査の実施</li> </ul>
3.12.20	伊勢市観光振興基本計画 推進委員会 令和3年度第3回会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素案に対する意見交換</li> </ul>
4. 1.18～ 4. 2.18	パブリックコメント	
4. 3. 1	伊勢市観光振興基本計画 推進委員会 令和3年度第4回会議 (意見交換会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメント等の意見に対する計画案への修正についての意見交換</li> </ul>
4. 3.24	伊勢市観光振興基本計画 推進委員会 令和3年度第5回会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の策定について</li> <li>・令和3年度事業検証</li> <li>・令和4年度以降の検証体制について</li> </ul>

## (2) 伊勢市観光客実態調査

観光客の旅行目的、滞在種別（日帰り・宿泊）、来訪手段、旅行費用、満足度等、当市を訪れる観光客の行動実態を明らかにするため、観光庁が定める「観光入込客統計に関する共通基準」に沿った形で、伊勢を訪れた観光客に対面式の聞き取り調査を実施した。

調査地点：外宮周辺、内宮周辺、二見、河崎の市内観光地域4か所

調査実施日・サンプル数：

- |                               |                   |
|-------------------------------|-------------------|
| (1期) 令和3年4月3日、4日              | 420 (うち 市民サンプル3)  |
| (2期) 令和3年6月26日、27日、7月31日、8月1日 | 695 (うち 市民サンプル11) |
| (3期) 令和3年10月9日、10日            | 307 (うち 市民サンプル5)  |
| (4期) 令和3年11月20日、21日           | 369 (うち 市民サンプル8)  |

委託期間：令和2年11月18日～令和4年3月31日

委託金額：3,729,000円【債務負担行為】

## ○ 観光客受入推進事業

### 1 観光客受入基盤整備事業

#### (1) 市内周遊促進基盤整備事業

朝熊山へ観光に訪れてもらうため、三重交通（株）と協働で参宮バスを運行した。観光地としての朝熊山の認知度を高め、山上への唯一の公共交通機関である参宮バスの利用者の増加につなげるため、参宮バスのPRチラシを市内観光案内所等に設置するとともに誘客イベント等で配布した。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に引き続き、乗降客数が大きく減少したまま推移した。また、緊急事態宣言の発出等を受けて9月中の運行を休止した。

<参宮バス利用状況（単位：人）>

発地	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
近鉄五十鈴川駅	99	135	90	164	69	0	157	276	219	252	157	197	1,815
山上広苑	139	212	131	282	120	0	309	362	289	577	220	314	2,955
計	238	347	221	446	189	0	466	638	508	829	377	511	4,770

#### (2) 二見浦海岸公衆トイレ清掃業務委託

トイレの衛生環境を適切に保つため、毎日1回の日次清掃を行った。

委託期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

委託金額：1,248,500円

### 2 観光客受入環境創出事業

#### (1) 共同パンフレット作成事業

伊勢を訪れる観光客の市内周遊を促すため、到着後に市内で使用する各種観光マップやパンフレットを、（公社）伊勢市観光協会と共同で作成し、観光案内所等で配布している。

令和3年度は「二見浦マップ」「市内マップ」の情報更新・増刷を行った。

#### (2) （公社）伊勢市観光協会との協働事業

次の事業を（公社）伊勢市観光協会と協働で実施した。

##### ア 観光祈願祭・日本観光交流伊勢会議

例年、国内の観光関係者が伊勢に集い、観光の意義と重要性を認識し、健全な観光を推進するために交流等を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は規模が縮小となった。

##### イ 秋の行事

###### (ア) 御幣鯛

毎年10月12日、伊勢神宮の神嘗祭に合わせて愛知県南知多町の篠島より神社港に訪れる関係者の方々を花火で迎え入れ、花束と記念品の授与を行っているが、新型コ

コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は中止となった。

(イ) 観月茶会

例年、伊勢の四季を感じるイベントの一つとして、神宮観月会を奉賛し、観月茶会を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は中止となった。

ウ 越年行事

例年、全国から訪れる伊勢神宮年越し参り等のお客様へ振る舞い餅等のおもてなしを行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は奉納行事のみの縮小した活動となった。

エ ナイトタイムエコノミー推進事業

(公社)伊勢市観光協会との協働事業である「伊勢の食文化調査研究事業」で作成した「夜の飲食マップ」の活用や既存のランディングページの修正等を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は事業を中止した。

オ マスコットキャラクター事業

例年、(公社)伊勢市観光協会のマスコットキャラクターである「伊勢まいりんくん」の着ぐるみを活用し、伊勢のPRイベント等に参加し、幅広い客層に対するPR活動をしているが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度はイベント等が中止となり、出演回数が減少した。

カ 開花情報発信事業

市内の桜名所の開花情報を、(公社)伊勢市観光協会のホームページやSNS等で情報発信した。

(3) 宮川堤公園観光客受入環境の整備

日本さくら名所100選に選定されている宮川堤の桜の見頃に合わせライトアップを行った。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、観光バス用駐車場及び露店の開設を中止とし、新型コロナウイルス感染症防止の啓発を含めた看板と仮設トイレの設置、交通警察員の配置等を行い、受入環境を整えた。

委託先：中島学区まちづくり協議会

委託期間：令和3年3月5日～令和3年4月30日

委託金額：3,322,870円

(4) 伊勢市駅前広場等へのイルミネーション設置

公共交通機関を利用して当市を訪れる観光客等の玄関口であるJR伊勢市駅前広場、近鉄宇治山田駅前広場及び市道宮後1丁目1号線の樹木等にLEDイルミネーション装飾を設置し、駅前の賑わいの創出、観光客受入のための光の演出を行った。



施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
吹上1丁目 地内ほか	伊勢市駅前広場 ほかイルミネーション設置工事	電気設備設置工 一式 電気設備撤去工 一式 イルミネーション装飾工 一式 イルミネーション撤去工 一式	円 1,813,900	3.11.5	4.3.4

### 3 二見ビーチ活性化事業

#### (1) 二見ビーチ活性化運營業務

海岸周辺地域一帯（ビーチを含む）を観光資源として活用し、夏季シーズンの海水浴に加えて、年間を通じて継続的に集客できるイベント等を開催し、二見地域での滞在時間が増加するような取り組みを行った。

委託期間：令和3年4月12日～令和4年2月28日

委託金額：6,440,225円（税込）

#### ア 海水浴場管理運営

新型コロナウイルス感染症の影響により、開設を中止することとした。

#### イ 新たな市内分散・周遊型イベント

二見エリアにおける体験コンテンツの開発を行い、OTA（オンライン・トラベル・エージェント）と連携して販売、事業PR及び利用促進のためのクーポン発行などを行った。

#### ウ チャージスポットを活用した二見周遊事業

外宮エリア、内宮エリア、二見浦エリアにチャージスポット（持ち運び可能なスマートフォン充電器のレンタルサービス）の貸出スタンドを設置し、その貸出スタンドの画面へ各エリアで作成したオリジナルストーリーを放映し、外宮エリア、内宮エリア、二見浦エリアの順に周遊し、視聴すると、一つのストーリーとして繋がって完結するというイベントを実施した。

#### (2) 海岸清掃

年間を通じて二見浦海水浴場施設とその周辺の環境や景観を良好な状態に保つために、伊勢市シルバー人材センターに清掃業務を委託した。

また、地元中学校や地域住民、二見まちづくりの会等が主体となった海岸の清掃も実施した。

### 4 観光地等混雑状況配信事業

市内主要観光地において観光客等が混雑を避けて、安全安心かつ快適に観光するための情報提供を目的に、令和2年度から人流データを把握して数値化し、混雑状況を可視化するとともに、混雑状況予測を行うためのシステムを導入し、令和3年度はカメラ清掃等のメンテナンスを含めた運用保守業務を実施した。

本システムは市内主要観光地等の観光客が密集する場所に定点カメラ等の設備を9か所に設置し、得られる画像データをAIを用いてリアルタイムに解析・数値化した上で滞留状況の数値デ

ータを収集し、混雑状況の把握及び混雑状況予測をウェブサイトで配信するもので、密集を避けた行動をするための判断材料として混雑状況を提供することにより、感染症や混雑を避けた安全安心かつ快適な観光客の周遊を促すことができる。

委託期間：令和3年4月1日～令和5年3月31日

委託金額：9,001,344円【債務負担行為】（令和3年度分4,500,672円）

## ○ 三重とこわか国体おもてなし事業

### 1 市内周遊消費促進

大会期間中に伊勢を訪れる選手や関係者、応援の方の市内周遊と消費の促進を図るため、市内マップとグルメパンフレット印刷及び大会記念クーポン作成を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の急拡大を受けて大会中止が決定されたことにより、取り止めることとした。

### 2 外宮参道行灯装飾

三重とこわか国体の開催50日前を機に、三重とこわか国体・三重とこわか大会の伊勢市開催の9競技をデザインした伊勢和紙行灯を外宮参道へ設置した。なお、中止決定後に撤去を行った。

## ○ 旅客誘致宣伝事業

### 1 スポーツ・MICE 誘致推進事業

伊勢市集大会・スポーツ合宿誘致補助金事業として市内での各種スポーツ大会や合宿、会議等を誘致するため、市内宿泊者数に応じて補助金を交付した。

交付団体（延べ）：51団体

補助金額：10,829,000円

宿泊者数（延べ）：12,675人

## ○ 観光行事振興事業

### 1 第69回伊勢神宮奉納全国花火大会

#### （1）大会の開催中止

開催に向けて準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を考慮し、関係機関と協議を重ねた結果、開催中止とすることを令和3年4月23日に決定した。

#### （2）合同展示の実施

イオンタウン伊勢ララパーク主催の「伊勢のおまつり展」が開催され、伊勢神宮奉納全国花火大会、伊勢まつり、初穂曳の合同展示が行われ、過去の大会写真や花火大会Tシャツを提供し展示をしていただいた。

### 2 野口みずき杯 2021 中日三重お伊勢さんマラソン

#### （1）大会の開催中止

開催に向けて準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を考慮

し、関係機関と協議を重ねた結果、開催中止とすることを令和3年6月11日に決定した。

## (2) 代替イベントの開催

G P S計測が可能なスマートフォンアプリ「T A T T A」を利用し、開催期間中に主催者で定めた累計走行距離 21.0975 k mの完走を目指すオンラインマラソンを開催した。また、開催期間の最終日には、新型コロナウイルス感染症対策として、来場者全員が一週間前から体調管理等を行った上で、アテネオリンピック女子マラソン金メダリストの野口みずきさんを招いてイベントを開催した。

ア 野口みずきさんと一緒に走ろう！お伊勢さんオンラインマラソン 2021

開催期間：令和3年11月21日～令和3年12月4日

申込者数：1,777人

参加料：3,000円から10,000円（参加コース毎に設定）

イ 野口みずきさんと一緒に走ろう！お伊勢さんオンラインマラソン 2021「完走を目指すイベント」

開催日：令和3年12月4日

申込者数：275人（うち当日の参加者数は157人）

開催場所：三重交通Gスポーツの杜伊勢（三重県営総合競技場）

## ○ 民俗伝統行事継承事業

### 1 民俗伝統行事継承事業

#### (1) 民俗伝統行事継承事業負担金

伊勢御遷宮委員会が、国が選択する記録作成等の措置を講ずべき無形の民族文化財であり、市指定無形民俗文化財でもある「お木曳行事」、「お白石持行事」の保存継承及び神宮を核とした伊勢の情報発信を行うため、次期神宮式年遷宮に向けた事業計画に基づき以下の事業を実施した。

次世代継承事業：民俗行事の記録整備、小冊子作成等

P R 事業：ホームページリニューアルによる情報発信等

#### (2) 初穂曳実施負担金

伊勢神宮奉仕会主催の初穂曳（奉納行事）に参画した。令和3年度においては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため奉曳は自粛とされた。

開催日：令和3年10月15日、16日

内容：外宮領奉納、内宮領奉納

#### (3) 伊勢市民俗伝統行事継承事業基金積立金

伊勢市民俗伝統行事継承事業基金条例に基づき、「お木曳行事」、「お白石持行事」の円滑な実施と保存継承等を目的に、伊勢商工会議所、（公社）伊勢市観光協会と共に基金の積み立てを行った。

## ○ 観光交通対策管理事業（観光交通対策特別会計）

### 1 宇治浦田街路広場公衆トイレ清掃業務委託【交通政策課から執行委任】

トイレの衛生環境を適切に保つため、平日2回、土日・祝祭日3回の日次清掃を行った。

委託期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

委託金額：4,694,800円

## ○ 新型コロナウイルス感染症防止対策事業

### 1 観光地感染防止対策事業

市内主要観光地において、安心して訪れ、働き、暮らせる観光地の環境創出を目的に、(公社)伊勢市観光協会と協働で、店舗利用者に限らず観光客が利用できる消毒液スタンドを設置した。また、夏季のマスク着用による熱中症対策としてミスト噴霧器を設置した。

#### (1) 熱中症対策設備（ミスト噴霧器）設置

設置期間：令和3年8月2日～9月15日

設置場所：JR伊勢市駅前広場及び外宮前広場（市道外宮参道線）

#### (2) 観光者向け消毒液スタンド設置

設置方法

(公社)伊勢市観光協会による設置又は(公社)伊勢市観光協会と管理協定を締結した主要観光目的地に存する協力店舗への貸与による設置

設置か所数（単位：台）

内宮周辺	外宮周辺	二見周辺	河崎周辺	その他	合計
25	24	8	5	3	65

イベントへの消毒液スタンドの貸し出し

貸し出し回数：4回

貸し出し台数：16台

### 2 観光地等混雑緩和事業

非接触型受入環境の一環として、(公社)伊勢市観光協会と協働で、観光地の混雑情報及び観光情報を一体的に特集したデジタルサイネージを新たに設置し、密集を避けた分散型観光の促進を図った。また、(公社)伊勢市観光協会のホームページ内に年末年始の観光地の混雑緩和を目的とした特集ページを作成し、周知を行った。

デジタルサイネージ設置場所：5か所

伊勢市駅構内

伊勢市駅手荷物預かり所

宇治山田駅観光案内所

宇治浦田観光案内所

二見浦観光案内所

運用開始日：令和3年12月27日

## ○ 新型コロナウイルス感染症経済対策事業

### 1 感染症対策型イベント支援事業

まちの賑わいを創出するとともに、地域経済の活性化を図るため、国や県等の指針や各業界団体のガイドライン等に沿って、感染症対策を行っている集客イベントを実施する団体へ補助金を交付した。

交付団体：1 団体

補助金額：446,597 円

### 2 飲食店・宿泊施設応援事業

新型コロナウイルス感染症拡大のため、営業自粛や休業等により経済的打撃を受けている市内事業者（飲食業・宿泊業）に対する経済支援策として、令和2年度に（公社）伊勢市観光協会と協定を締結し、協働でクラウドファンディングを利用したプレミアム付き応援券「@伊勢 action～食・泊みらいチケット」の発行を行った。企業損失を解消すると同時に取組を通じて全国へ伊勢市の観光PRを行い、観光振興に繋げることを目的に実施した。

協定に基づく事業実施期間：令和2年5月15日～令和4年3月31日

参加事業者募集期間：令和2年5月28日～6月5日

クラウドファンディング実施期間：令和2年6月10日～7月1日

窓口支援ハガキ受付期間：令和2年6月25日～7月13日

窓口支援引換期間：令和2年7月27日～8月20日

応援券利用期間【飲食店】：令和3年12月15日まで（注）

（注）新型コロナウイルス感染症拡大等により令和3年2月28日から変更

【宿泊施設】：令和3年12月15日まで

参加事業者数【飲食店】：214店（190事業者）

【宿泊施設】：30施設（29事業者）

支援結果：支援総額 76,510,000 円（うち応援券発行対象外の寄附 160,000 円）

支援件数 9,218 件

支援者数 3,965 人

応援券発行枚数： 飲食コース 71,191 枚

宿泊コース 5,159 枚

精算チケット枚数：令和2年度 飲食コース 60,951 枚

宿泊コース 2,457 枚

令和3年度 飲食コース 8,757 枚

宿泊コース 2,428 枚

合計 飲食コース 69,708 枚

宿泊コース 4,885 枚

### 3 オンラインツアー等造成促進事業

伊勢市内の観光事業者が新たな生活様式に対応した業態へと事業基盤を移行または強化する一手段として、（公社）伊勢市観光協会と協働してオンラインツアー等を造成・催行するための講座等の実施を行うとともに、講座を受講した23事業者のうち、初めてオンラインツアーを催行する

事業者を対象に企画を募集し支援を行った。

事業期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

オンラインツアー販売・催行期間：令和3年10月1日～12月31日

オンラインツアー造成に係る支援・助成決定事業者数：4事業者

オンラインツアー商品販売数：16本催行（利用者計219人）

#### 4 屋外体験型旅行商品造成事業

（公社）伊勢市観光協会と連携し、伊勢市内に点在する既存旅行商品や観光資源・屋外体験施設を、コロナ禍において、密回避、自然との共生、健康増進等の新たな旅行需要に対応した一体的または連携した旅行商品として造成し、OTAを活用し販売促進支援を行った。

##### （1）屋外体験コンテンツの造成及び販売

OTAと連携し屋外体験メニューの新規造成及び既存商品の磨き上げ、販売を行った。

新規造成事業者数：18事業者数

利用実績：2,262件

##### （2）クーポンの発行

造成した体験メニューの利用促進を図るため割引クーポンを発行した。

発行期間：令和3年12月15日～令和4年1月20日

発行券種：500円、900円、1,400円、1,900円、2,400円

発行数：合計876枚（うち利用数 合計484枚）

## ○ 国民体育大会開催事業

### 1 国民体育大会開催事業

第76回国民体育大会（三重とわか国体）及び第21回全国障害者スポーツ大会（三重とわか大会）の開催準備を進めていたが、令和3年8月以降のこれまでにない全国での感染拡大により、県内の医療体制や競技会運営にご協力いただく競技役員や高校生生徒の派遣をいただくことも難しい状態となり、さらに三重県も緊急事態宣言の発令を要請することとなったことを受け、中止に至ることとなった。

経費負担として三重とわか国体・三重とわか大会伊勢市実行委員会に負担金を支出し、開催準備及び中止に係る対応を行い、中止決定時点において、9割程度の発注が終了していたため、各受注者と協議のうえで精算を行った。

# 観 光 誘 客 課

## ○ 旅客誘致宣伝事業

### 1 ターゲット戦略推進事業

#### (1) 公共交通機関タイアップ誘客キャンペーンの推進

伊勢への観光客の来客数上位3位である東海・関西・関東からの観光客のリピーター化を図り、また、公共交通機関の利用を促進するため、公共交通機関とタイアップした誘客キャンペーンを実施した。

##### ア JR東海「市内周遊促進対策」キャンペーン

伊勢への観光客の来客数第3位の地域である関東を中心に、第1位の東海からの誘客も含め、訪れる観光客のリピーター化を図り、また、公共交通機関の利用を促進するため、東海旅客鉄道（株）とタイアップした誘客キャンペーンを実施した。

密を回避しての伊勢旅をテーマとするビジュアルのポスター等を作成し、駅貼り・JR東海ツアーズ店頭ポスター、新幹線車内広告、東京駅八重洲口でのデジタルサイネージ、東京駅日本橋口でのバナーの展開を実施し、最も長く掲出できた場所では、上期は令和3年4月1日から9月30日まで、下期は令和3年11月1日から令和4年3月31日まで掲出した。

委託先：（株）ジェイアール東海エージェンシー

委託金額：（上期）6,491,183円【債務負担行為】  
（下期）6,083,883円

委託期間：（上期）令和3年1月20日～令和3年9月30日  
（下期）令和3年8月19日～令和4年3月31日

##### イ 関西私鉄等ポスターキャンペーン

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で旅行の自粛が広まっている中、今後の旅行先として伊勢を選んでもらうことを目的に、関西私鉄等の公共交通機関とタイアップし、グラフィックデザイナー連携ポスター等作成事業で作成したポスター及びデジタルサイネージを掲出した。

委託先：（株）アド近鉄伊勢支店

委託金額：3,150,400円

委託期間：令和3年6月7日～令和4年2月28日

	公共交通機関名称	掲出場所	媒体	掲出期間
1	阪神電気鉄道（株）	大阪梅田駅	ポスター	3. 9. 6～ 3. 9. 19
2	阪急電鉄（株）	大阪梅田駅	ポスター	3. 9. 6～ 3. 9. 19
3	西日本旅客鉄道（株）	大阪駅	ポスター	3. 9. 6～ 3. 9. 19
4	南海電気鉄道（株）	なんば駅	ポスター	4. 1. 31～ 4. 2. 27

5	近畿日本鉄道（株）	主要 10 駅	デジタルサイネージ	4. 1. 31～ 4. 2. 27
6	日本空港ビルデング（株）	東京国際空港	デジタルサイネージ	4. 2. 1～ 4. 2. 28
7	中部国際空港（株）	中部国際空港	デジタルサイネージ	4. 2. 1～ 4. 2. 28

(2) グラフィックデザイナー連携ポスター等作成事業

関西私鉄等ポスターキャンペーンにて露出を図るため、日本を代表するグラフィックデザイナーであり、外務省の戦略的対外発信拠点「ジャパン・ハウス」の総合プロデューサーを務める原研哉氏を起用したポスター及びデジタルサイネージを作成した。

委託先：（株）日本デザインセンター

委託金額：3,729,825 円

委託期間：令和3年5月27日～令和3年11月15日

(3) ラジオ放送等を活用した情報発信

重点取組遠隔地である北海道からの誘客を図るため、（株）エフエム北海道とタイアップし、ラジオ番組及び放送内のスポットCMにおいて、伊勢の観光情報を北海道地域へ放送した。また、番組ホームページ及びSNS上で伊勢の情報発信やラジオ番組リスナーを対象としたツアーの実施、札幌市内で伊勢の食をテーマにしたランチイベントを開催した。

委託先：（株）エフエム北海道

委託金額：3,993,000 円

委託期間：令和3年8月2日～令和4年2月28日

（ラジオ番組放送日：令和3年11月4日～令和4年1月27日の毎週木曜日）

（1時間ラジオ特別番組放送日：令和4年2月20日）

（リスナーツアー実施日：令和3年12月18日～19日）

（ランチイベント実施日：令和4年1月15日）

（スポットCM放送日：令和4年2月1日～28日で計50回）

(4) 首都圏メディアプロモーション事業

首都圏における伊勢の認知度向上ならびに宿泊促進も含めた観光客の誘致を目的に、旅行商品の造成や、東京メトロ主要駅構内に配架されているフリーペーパー「メトロミニッツ」への掲載、約370万人の会員をもつWEBメディア「OZma11」等で伊勢の観光情報及び旅行商品の発信を行うとともに、旅行商品予約者に特別編集冊子「伊勢よりみち帖」を贈呈した。

委託先：スターツ出版（株）

委託金額：7,216,000 円

委託期間：令和3年5月28日～令和4年2月25日

(5) クリエイター連携PR事業

クリエイターの目線での伊勢市の魅力の発信等を行う事業を（株）山本寛斎事務所との連携により実施するとともに、今後取り組む事業の調査や企画を行った。



#### ア クリエイター連携PR事業

(株) 山本寛齋事務所と伊勢市における官民合体にて、伊勢の魅力増進や発信等を行うため、事務所代表が当市を訪れ現地調査を行い、今後取り組む事業の素案を構築した。また、伊勢の国際化に向け世界に通用する感性を養うことを目的に、令和3年12月22日に伊勢理容美容専門学校及び明野高等学校の学生に対して講演を行った。

委託先：(株) 山本寛齋事務所

委託金額：500,000円

委託期間：令和3年10月29日～令和4年1月14日

#### イ クリエイター連携PR「伊勢市新ブランド構想」事業

(株) 山本寛齋事務所と伊勢市の企画により、伊勢和紙布を開発しブランド化することで、当市への観光誘客に資する『ものづくり力の強化』や『国内外に向けたファンづくり』等を見据えた「伊勢市新ブランド構想」の実現を図るため、詳細な企画立案や調査研究を行った。また、クリエイター目線による伊勢の魅力の発信として、世界的なファッション誌である「WWD JAPAN」のWEB版（令和4年3月29日掲載）にて伊勢和紙の魅力伝える情報発信を行った。

委託先：(株) 山本寛齋事務所

委託金額：2,500,000円

委託期間：令和4年2月14日～令和4年3月31日

#### (6) 観光体験・滞在メニュー活用促進事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、見聞を広げる体験を目的とした教育旅行が中止となっており、将来の観光リピーターである若年層の思い出を作る機会が損失されている中で、体験メニューの造成と、その体験メニューを活用した旅行商品を造成し、OTA（オンライン・トラベル・エージェント）等にて割引価格で販売し、新たな魅力の発信と将来も見据えた旅行者の獲得を目的に促進した。

委託先：三重交通（株）観光販売システム営業部

委託金額：1,714,540円

委託期間：令和3年6月17日～令和4年3月17日

#### (7) 着地型旅行商品造成販売事業

伊勢への来訪客の増加及び滞在時間の延伸を図るため、伊勢の着地型旅行商品を開発し、中京圏、関西圏、首都圏、北海道、九州等の旅行会社への企画提案と流通促進、OTAを活用した販売促進を行った。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、旅行会社店舗・窓口の利用者が減ったため、活用するOTAを増やし、WEB上での販売促進を強化した。

委託先：三重交通（株）観光販売システム営業部

委託金額：3,311,000円【債務負担行為】

委託期間：令和3年3月4日～令和4年3月31日

(8) ホームページを活用した情報発信

(公社)伊勢市観光協会と共同運営するホームページで、観光情報の発信を行った。

なお、平成30年度にホームページの全面リニューアルに伴うURLの変更があり、検索エンジンによる表示順位が低下したことで、アクセス数が減少した。コロナ禍において、観光地として選ばれ続けるためには、ホームページでの情報発信は重要であるため、令和2年度末にデザイン性に優れ、スマートフォンでの利用を前提とした利用者にとって利便性が高いサイトにリニューアルを行い、アクセス数は徐々に回復している。

年度	アクセス数	稼働日数	一日平均
29	1,076,552	365	2,949.5
30	241,366	365	661.3
元	385,763	366	1,054.0
2	335,625	365	919.5
3	491,095	365	1,345.5

(9) 観光パンフレットの利活用による情報発信並びに誘客活動

(公社)伊勢市観光協会と共同作成した観光パンフレットを市内の観光案内所で配布するほか、首都圏に出店した期間限定のアンテナショップへの設置、電話・メール等によるパンフレット送付依頼への対応等、用途に応じて配布した。

なお、インターネット等を通じた情報発信に注力する趣旨で平成30年度に雑誌等への広告掲載事業を縮小したことにより、以後のパンフレット送付件数は減っている。令和3年度は前年度と比較すると増加したものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年より送付件数が少ない状況が続いている。

年度	パンフレット送付件数
29	1,091
30	462
元	307
2	86
3	150

(10) 観光PR活動

伊勢の観光パンフレットの配布や物産展とのコラボレーションによる観光PRを行った。対象地域として、人口規模が大きく発信力のある首都圏及びリピーターが期待される大阪を設定した。

<観光PR活動実施状況>

	実施内容(及び実施場所)	実施日	備考
1	JR東海ツアーズ東京支店PRイベント(東京都千代田区)	3.12.18~3.12.19	伊勢市、鳥羽市、志摩市、三重県共同出展
2	「ISE SHOP」南町田グランベリーパーク(東京都町田市)	3.10.29~4.1.30	商工労政課委託事業 (公社)伊勢市観光協会受託)
3	「ISE SHOP」青葉台東急スクエア(神奈川県横浜市)	4.2.2~4.2.27	
4	「ISE SHOP」ららぽーとEXPOCITY(大阪府吹田市)	4.2.8~4.2.20	

(11) 「常若婚」にかかる事業

日本航空（株）及び三重県と連携して平成28年度に造成した旅行商品「常若婚」について、公式ホームページを（公社）伊勢市観光協会と共同で運営した。なお、旅行商品については、造成以降関係者の協力を仰ぎながらPRやセールス活動に尽力したが、販売が伸び悩んでいる状況が続いており、日本航空（株）及び三重県と協議の上、令和4年度以降は旅行商品の販売及び公式ホームページの運営を中止することとした。

(12) 伊勢市スマートシティ推進フェロー及び観光誘客アドバイザーの委嘱

市の観光誘客施策における具体的な課題に関し、高度な知識や経験等を有する者から個別に助言等を受けるため、映像等デジタルメディアを活用した外国人観光客誘致等のための伊勢市スマートシティ推進フェローと、観光プロデュース等のための伊勢市観光誘客アドバイザーを次の者に委嘱した。

- ・伊勢市スマートシティ推進フェロー  
渡邊賢一氏（（株）X P J P、令和3年4月1日付け委嘱）
- ・伊勢市観光誘客アドバイザー  
阿部達也氏（日本航空（株）、令和3年4月1日付け委嘱）

2 広域連携事業

(1) 各種広域連携協議会への参画

伊勢熊野観光連絡協議会、（公社）三重県観光連盟、伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会、（公社）日本観光振興協会、歴史街道推進協議会、NPO法人全国街道交流会議、いせでわDMO、鳥羽港クルーズ船誘致受入協議会等に参画し、事業展開を図った。

(2) ポケモンのマンホール『ポケふた』

三重県と（株）ポケモンとの包括連携協定による取組の一環として、ポケモンのマンホール『ポケふた』が三重県内の各市町に順次寄贈されることとなり、伊勢市には令和4年3月11日に外宮前広場に設置された。

3 伊勢志摩広域観光活性化事業

(1) （公社）伊勢志摩観光コンベンション機構への参画

伊勢志摩地域への誘客のため、（公社）伊勢志摩観光コンベンション機構に参画し、伊勢志摩への集大会・会議・展示会・イベント等の誘致、伊勢志摩地域の情報発信に向けた観光事業、フィルムコミッション事業等を展開した。

(2) 国内誘客プロモーション事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、購買意欲の高い中高年層の来訪や団体旅行需要が減少したことにより、伊勢志摩地域内での消費・周遊・滞在が伸び悩み、また、マイカー需要も高まっている。それらの課題解決や公共交通機関の利用促進等を目的に、前述のうち中高年層を主なターゲットとした旅行商品の造成や、地域内消費の促進を目的としたキャンペーン、コロナ禍に適したプロモーション等を実施した。

### (3) 伊勢志摩学生団体誘致事業

伊勢志摩地域の行政や民間施設等と協働で学生団体旅行の誘致活動を行い、ガイドブックの改訂、SDGsメニューの資料やモデルコースパンフレットの作成、ホームページの改修を行った。また、講師を招いたSDGsセミナーや講習会、首都圏の教育旅行担当者を招聘した研修旅行、旅行会社などの訪問セールスを実施した。

三重県において実施された県内の学校を対象とした「南部地域体験教育旅行促進事業費補助金」制度を多くの学校が活用したことにより、伊勢志摩地域への学生団体の来訪は昨年度に引き続き例年以上の実績となった。

### (4) フィルムコミッション事業

伊勢志摩フィルムコミッションが支援等を行う映像作品を活用した伊勢志摩地域情報発信事業として、伊勢志摩地域で撮影された映画のロケ地マップやポスターの作成、ドライブインシアターによるPRイベント等を行い、誘客を図った。

### (5) インバウンド推進事業

メインターゲットを欧米豪及び新型コロナウイルス感染症収束後に訪日旅行の見込みが高いアジア圏とし、宿泊施設でのマーケティング調査や民間事業者を対象とするセミナー、ホームページやパンフレットといった情報発信ツールの強化、ファムトリップ、オンライン商談会、在日外国人向けのメディアを活用したプロモーション等を実施した。

## 4 外国人観光客誘致推進事業

ターゲットを他地域・団体との連携ではアジア、市単独事業では欧米というように地域を分け、外国人観光客誘致に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けながらの事業実施となった。

### (1) 他地域・団体との連携事業

#### ア 協議会事業

東海地区外国人観光客誘致促進協議会、三重県外国人観光客誘致促進協議会、JNTO、日本観光振興協会等へ参画し、海外に向けた三重県や伊勢志摩地域のPR、観光パンフレットの海外発送等を行った。

#### イ 神秘の紀伊半島を一周するFIT誘客事業

欧米豪及びアジアを中心とした訪日外国人に対して紀伊半島の魅力を発信し、紀伊半島の認知度向上や来訪意欲を促進することを目的に、三重県や和歌山県、公共交通事業者等と協働し、動画の作成や、特に発信力の高いインフルエンサーの招請、海外の旅行博への出展等を実施した。

#### ウ タイ・シンガポールPR事業

(公社)伊勢市観光協会との協働事業として、シンガポールで開催された「伊勢志摩パールジュエリーグランプリ2021」にて、オンラインによる伊勢市のライブツアーや会場での観光パンフレットの配架を実施した。

#### エ 英語パンフレットゲストハウス発送事業

(公社)伊勢市観光協会との協働事業として、新型コロナウイルス感染症収束後を見据え、インバウンド向けの観光パンフレットを、首都圏・関西圏のゲストハウスに送付した。

### (2) 市単独事業

#### ア 外国人短期留学生招聘及び情報発信事業

令和4年2月～3月の3週間、皇學館大学と協働で、日本・伊勢の歴史文化に興味を持つ日本の大学院に在学中である外国人大学院生等を対象に、皇學館大学の留学生として伊勢の地で伊勢について学び、滞在中にSNSで母国へ伊勢の情報発信を行うプログラムを実施する予定で参加者を募集したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業実施に至らなかった。

#### イ イタリアでの映画上映

令和3年8月29日、世界最大の芸術祭として建築展が開催されたイタリアのヴェネチアビエンナーレで、伊勢の自然をテーマにしたドキュメンタリー映画「うみやまあひだ」を上映した。

#### ウ 「Google Arts & Culture」を活用した伊勢の文化発信

Googleが提供する世界各地の美術館や博物館等が所蔵する作品や文化遺産を鑑賞できるサービスである「Google Arts & Culture」にて、「お伊勢参り」「賓日館」「伊勢河崎商人館」のストーリーや施設等を高解像度の画像を用いて、英語と日本語で情報発信した。

## 5 旅客誘致推進事業

### (1) 伊勢市の観光PRキャラクターを活用した誘客推進活動

伊勢市の観光PRキャラクターである「はなてらすちゃん」のイラストやロゴを様々な印刷物や商品等に利用できるよう、キャラクター使用の申請を受け付け、許可した。また、着ぐるみを市が主催するイベント等にて使用するとともに、民間団体等が主催するイベントへの貸し出しを行った。

イラスト・ロゴ使用許可件数：36件

着ぐるみ貸出許可件数：7件

### (2) 誘客宣伝にかかる広告作成及び掲載事業

観光客の誘致を目的として、誘客に効果的な新聞等の広告媒体を活用し、伊勢の観光情報の発信を行った。

#### <掲載実績>

	媒体名	発行部数	掲載日	地域
1	奈良新聞	112,700	3. 7. 20	奈良
2	信濃毎日新聞	423,651	3. 7. 22	長野
3	旬刊旅行新聞	32,000	3. 11. 22	全国
4	わお!マップ	80,000	3. 12. 6	全国
5	信濃毎日新聞 (名刺広告)	423,070	4. 1. 1	長野

6	信濃毎日新聞（記事下広告）	423,070 ※2日間合計	4. 1. 1 4. 1. 3	長野
7	中日新聞	2,020,387	4. 2. 21	東海ほか
8	旬刊旅行新聞	32,000	4. 3. 11	全国

### （3）クリエイターと連携した誘客推進

観光PRイベントでの配布等を目的に、クリエイターズ・ワーケーション促進事業で令和2年度に滞在した漫画家の今日マチ子氏が、伊勢の風景を掲載し発刊した「Distance わたしの#stayhome 日記」内のイラストを活用したポストカードを作成した。

## ○ 三重とこわか国体おもてなし事業

三重とこわか国体・とこわか大会開催にあたり、全国から来訪する選手及び関係者等を温かく迎えることにより、伊勢のファンづくりに寄与し、後に旅行先として選択してもらうきっかけを作るため、記念品として、観光パンフレットの増刷及び参宮木札「常若」を作成したが、新型コロナウイルス感染症の急拡大を受けて大会中止が決定されたことにより、別途観光PRに利用した。

## ○ 新型コロナウイルス感染症経済対策事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による観光客の減少や休業・営業時間短縮等により、非常に大きな経済損失を被った市内事業者を支援する目的で、内閣府において創設された「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、以下の事業を実施した。

### 1 ショッピングサイト運営補助事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で売上が落ち込んでいる事業者の販路拡大を目的に、(公社)伊勢市観光協会と共同運営する観光情報公式ホームページ内に開設されているショッピングサイトにて、期間限定で送料負担や一定額以上の購入に対するクーポン付与を令和4年2月末まで実施し、在庫過多等になっている商品等の販売促進を行った。

実施期間：令和3年3月1日～令和4年2月28日

送料無料件数：578件

クーポン付与件数：412件

### 2 クリエイターズ・ワーケーション促進事業

令和2年度の事業であるが、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大により参加クリエイターの受入を一時停止したことに伴い、事業を令和3年度に繰り越し、計48組65人のクリエイターを受け入れた。また、参加クリエイターとタイアップし伊勢観光の魅力を再発見するイベントとして、令和3年6月6日に「北園忌」、11月15日に「Music Tree Project for 外宮参道」を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により当初決定したすべての参加者が滞在できず、事業費を精算し、令和4年度にターゲット戦略推進事業として引き続き未参加のクリエイターを受け入れることとした。

委託先：（公社）伊勢市観光協会

委託金額：24,684,000 円

精算金額：15,750,995 円

委託期間：令和2年8月26日～令和4年3月24日

### 3 デジタルクーポンシステム構築事業

伊勢まちづくり（株）が提供する「お伊勢さんまち歩きクーポン」デジタル版を普及させ、コロナ禍において求められる新しい生活様式に対応しつつ、観光消費の促進を目的に、デジタルクーポンコードシステムの構築及び導入や旅行商品の造成、情報発信等を行った。令和3年11月25日から令和4年2月28日までの期間におけるプロモーションカードの配布・販売件数は1,139件であり、利用件数は206件であった。

### 4 伊勢つながるキャンペーン事業

コロナ禍にてリピーターが伊勢参りができない状況が続いており、新型コロナウイルス感染症収束後に向けたリピート習慣を取り戻すことを目的に、「伊勢の思い出」等を募集し伊勢の産品をプレゼントするキャンペーンを実施した。1,607人の応募があり、特賞1人、本賞5人に加え、抽選で選ばれた200人に対し伊勢の産品をプレゼントしたほか、伊勢の気持ち（心）を伝える冊子を制作し、キャンペーン応募者を含めた伊勢のリピーターに送付した。